

STEALTH 500

オーナーズマニュアル
取扱説明書・整備要領書

V3311005



お礼

この度はFantic Motor(ファンティック モーター)の製品をお選びいただき、誠にありがとうございます。

本書には、車両の使用およびメンテナンスに関する情報、アドバイス、注意事項が記載されています。本書は、お客様に車両をわかりやすく簡潔にご理解いただけるよう作成されています。ご使用前に本書の内容をご一読いただくことで、新しい愛車への理解を深め、未永くご満足いただきながら安心してご使用いただけるものと確信しております。

目次

はじめに	7
メーカー情報および版	7
一般情報	9
記号について	9
車両への変更・改造について	10
一般情報	11
車台番号	15
使用上の注意	17
運転および取り扱いについて	17
慣らし運転について	20
車両の始動と停止	21
発進とギアチェンジ	24
安全なブレーキ操作	25
ABS（アンチロックブレーキシステム）	26
ライディングアシストテクノロジー	27
同乗者用シートの取り外し	28
駐車	29
サイドスタンド	29
積載	30
サイレンサー	30
服装	31
アクセサリ	31
輸送	31
給油	32
車両各部の名称と機能	33

目次

各部の名称	33
操作系	35
運転のための操作と調整	37
イグニッションスイッチ	37
ステアリングロックの方法	38
エンジン停止ボタン	38
スタートボタン	39
ホーンボタン	39
ターニングナルスイッチ	40
ロービーム/ハイビーム切り替えスイッチ	40
パッシングボタン	41
非常警告灯（ハザード）ボタン	41
サスペンション	42
フロントブレーキレバーの調整	45
クラッチレバーの調整	45
ヘッドライトおよびターニングナル	46
フロントヘッドライトの調整	46
バックミラー	48
ダッシュボード	49
デジタルダッシュボード	49
ダッシュボードコントロール	56
表示モードの選択	57
ライディング情報メニュー（RIDE）	57
ライディングモードの選択	58
設定メニューへのアクセス	60
警告・エラー表示について	66

目次

エンジンストップ/スタート	68
通常のメンテナンスについて	69
定期的なメンテナンスは重要です	69
定期的なメンテナンスにあたっての安全上の規定	69
お客様に行っていただきたい点検	70
エンジンオイル	71
タイヤ	73
クーラント（冷却液）	76
ブレーキシステム	78
ドライブチェーン	81
クラッチレバーの遊び調整	84
トラブルシューティング	86
バッテリー	88
ヒューズ及びリレー	90
車両の保管について	92
洗車について	93
推奨商品について	95
メンテナンス・プラン	97
メンテナンス・スケジュール	97
定期メンテナンス・プラン	98
テクニカルデータ（諸元）	103
規制適合宣言	107

はじめに

本書は車両に付属する重要な一部であり、車両を譲渡・売却する場合には必ず車両とともにお渡しください。**Fantic Motor**は、記載されている基本的な特性を保証したうえで、掲載されているモデル・仕様・デザインを予告なく変更する権利を有します。本書の全部または一部を、当社の承認なく複製・翻訳することはできません。本書に使用されている内容を無断で転用することは禁じられています。**Fantic Motor**は、印刷上の誤りや記載漏れについて一切の責任を負いません。無断複写・転載を禁じます。

エンジンを始動する前に、本書をよくお読みください。ご自身と周囲の方の安全は、とっさの反応や運動能力だけでなく、車両に関する知識、車両の状態、そして安全運転のルールについての理解にも左右されます。あらゆる走行状況に自信を持って対応できるよう、事前に車両の取り扱いに十分慣れておくことをお勧めします。

メーカー情報および版

FANTIC MOTOR S.P.A.

www.fantic.com - info@fanticmotor.it

発行:00/2026

コード:V3311005

記号について

本書では、以下の記号を用いて注意事項や警告を示しています。

-  **禁止:**禁止事項を示します。この警告を守らない場合、使用者または第三者の安全が損なわれたり、財産や車両に損害を与えたりするおそれがあります。
-  **危険:**回避しない場合、死亡または重傷を負うおそれがある、潜在的に危険な状況を示します。
-  **警告:**回避しない場合、重傷を負うおそれがある、潜在的に危険な状況を示します。
-  **注意:**回避しない場合、運転者または車両に損害を与えるおそれがある、潜在的に危険な状況を示します。
-  **注記:**車両やその部品への損害を避けるため、特に注意が必要な手順を示します。
-  **参考情報:**説明されている手順や車両の機能に関する補足であり、手順をより分かりやすく進めやすくするための有用な情報です。
-  **締付トルク:**説明されている手順に関連する締付トルク値を示します。
-  **計測データ:**説明されている手順の中で確認・遵守すべき計測値を示します。
-  **使用工具:**説明されている手順に特定の工具の使用が必要であることを示します。
-  **廃棄:**廃棄物を関連法規に従って処理する必要があることを示します。

車両への変更・改造について

純正部品の取り外しなど、車両に対する任意の改造は、性能や安全性を低下させ、法令違反となるおそれがあります。車両の装備に関する国および地域の法令・規則には常に従ってください。特に、性能の向上や本来の特性の変更を目的とした技術的な改造は避ける必要があります。

純正部品の改造は法律で禁止されているだけでなく、車両を保安基準に適合しない危険な状態にします。このような変更は保証および型式認証を無効にします。

Fantic Motorは、任意の改造に起因する人・動物・財産への損害または傷害について一切の責任を負いません。使用者はアクセサリーの選定および使用について自らの責任を負うものとし、純正アクセサリーの使用を強くお勧めします。

お気を付けいただきたいこと

高温になる部品

- △ エンジン、排気系統、ラジエーターなど一部の部品は、車両の停止後も高温のままであることがあります。これらの部品の近くで作業する際は、適切な保護具を着用するか、完全に冷えるまで待ってください。

一酸化炭素

- △ 排気ガスには、毒性が強く生命に関わる一酸化炭素が含まれています。作業は必ず屋外または換気の良い場所で行ってください。屋内などの密閉空間で作業する場合は、必ず排気を屋外に排出する装置を使用してください。

燃料

- △ 燃料は引火性が非常に高く、条件によっては爆発するおそれがあります。給油および整備作業は、必ず換気の良い場所で、エンジンを完全に停止した状態で行ってください。

給油中や燃料の蒸気がある場所では喫煙しないでください。火気、火花その他の着火源との接触を避けてください。火災や爆発の原因となります。整備作業の際は、必ず適切な衣服、手袋、保護メガネを着用してください。

- △ 燃料は吸入または飲み込んだ場合、健康に有害です。刺激性があり、皮膚や目に付着すると重篤な症状を引き起こすおそれがあります。

誤って飲み込んだ場合は、無理に吐かせないでください。速やかに医療機関を受診し、原因と経緯を伝えてください。皮膚に付着した場合は、跡が残らなくなるまで、直ちに大量の水と石けんで洗い流してください。

目に入った場合は、直ちに大量のきれいな水で十分にすすぎ、原因と経緯を伝えたくて速やかに医療機関を受診してください。衣服に付着した場合は衣服を脱ぎ、大量の水と石けんでよく洗ってください。お子様の手の届かない場所に保管してください。

JP

🚫 環境中に放出しないでください。

エンジンオイル・ブレーキフルード・サスペンションオイル

整備作業の際は、必ず適切な衣服、手袋、保護メガネを着用してください。

⚠ エンジンオイル、ブレーキフルード、サスペンションオイルは、吸入または飲み込んだ場合、健康に有害です。刺激性があり、特にブレーキフルードは腐食性があるため、皮膚や目に付着すると重篤な傷害を引き起こすおそれがあります。

誤って飲み込んだ場合は、無理に吐かせないでください。速やかに医療機関を受診してください。皮膚に付着した場合は大量の水と石けんで、目に入った場合は直ちに大量のきれいな水で洗い流し、速やかに医療機関を受診してください。衣服に付着した場合は衣服を脱ぎ、よく洗ってください。

⚠ ブレーキフルードは、塗装面や樹脂・ゴム部品を傷めることがあります。整備作業の際は、これらの部分をきれいな布で保護することをお勧めします。

お子様の手の届かない場所に保管してください。

 廃エンジンオイル、廃ブレーキフルード、廃サスペンションオイルは密閉容器に回収し、最寄りの販売店・整備工場または廃油回収拠点に引き渡してください。

 環境中に放出しないでください。

冷却水(クーラント)

整備作業の際は、必ず適切な衣服、手袋、保護メガネを着用してください。エンジン運転中、冷却水は圧力がかかった状態にあります。ラジエーターキャップを外す際は、車両の各部が完全に冷えるまで待ってください。

 冷却水に含まれるエチレングリコールは可燃性があります。炎が目に見えなくても重度のやけどを負うおそれがあるため、高温になった部品に冷却水をこぼさないよう注意してください。

 冷却水は、吸入または飲み込んだ場合、健康に有害です。刺激性があり、皮膚や目に付着すると重篤な症状を引き起こすおそれがあります。

誤って飲み込んだ場合は、無理に吐かせないでください。速やかに医療機関を受診してください。皮膚に付着した場合は大量の水と石けんで洗い流し、目に入った場合は直ちに大量のきれいな水で十分にすすぎ、速やかに医療機関を受診してください。

衣服に付着した場合は衣服を脱ぎ、大量の水と石けんでよく洗ってください。お子様の手の届かない場所に保管し、環境中に放出しないでください

バッテリー

① 搭載されているバッテリーはAGM(Absorbent Glass Mat)タイプで、補水などのメンテナンスは不要です。

⚠ バッテリー充電時は十分な換気を確保してください。バッテリーは爆発性のガスを発生することがあるため、裸火・火花その他の着火源に近づけないでください。

⚠ AGMバッテリーにはガラス繊維に吸収された電解液(硫酸を含む場合があります)が使用されています。破損した場合、漏れた電解液は有害・刺激性・腐食性があり、皮膚や目に重度のやけどを負わせるおそれがあります。直接触れないようにし、手袋・保護メガネなどの保護具を必ず着用してください。

衣服に付着した場合は、衣服を脱ぎ、大量の水と石けんでよく洗ってください。お子様の手の届かない場所に保管してください。

♻ 使用済みバッテリーは関連法規に従って廃棄してください。特に破損したバッテリーの取り扱い・廃棄には十分注意してください。環境中に放出しないでください。

ラジエーターおよび冷却ファン

⚠ 冷却ファンは警告なく自動的に作動することがあります。手や衣服を近づけないでください。

車台番号

JP

フレーム番号

エンジン番号

Fantic Motorの車両には、車台番号およびエンジン番号が刻印されています。紛失や損傷の際に備え、上記の欄に番号を控えておくことをお勧めします。

⚠ 識別番号は改ざんしないでください。重大な刑事罰・行政処分の対象となるおそれがあります。また、車台番号が変更され判読できなくなった場合、新車保証が無効になります。

フレーム番号

フレーム番号は、ステアリングチューブの右側に刻印されています。

- ① 右のイメージは参考です。
- ① 純正部品を注文する際は、この識別番号を販売店にお伝えください。



エンジン番号

エンジン番号は、クランクケース下部左側に刻印されています。

- ① 右のイメージは参考です。



運転および取り扱いについて

以下の安全ガイドラインは、人身傷害や物的損害を防止し、より安全で確実な車両の使用を実現するために示すものです。

車両の使用にあたって

車両を使用するには、法令上のすべての要件を満たす必要があります。車両に十分に慣れるまでは、交通量の少ない場所や人の少ない道路で走行することをお勧めします。急な操作や危険な運転操作を避けるため、常に交通ルールを守り、両手をハンドルに、両足を所定のステップに置いて走行してください。走行中は周囲に十分注意を払ってください。

⚠ 飲酒、薬物、特定の医薬品の影響下にあるとき、または疲労・眠気を感じるときは、車両を運転しないでください。これらの注意を守らない場合、極めて危険であり、重傷や損害につながるおそれがあります。

⚠ 走行前に、エンジンオイル、ブレーキオイル、サスペンションオイル、冷却水などの液漏れがないか車両を点検してください。

路面状況、視界、天候を常に評価し、安全な走行に適さない状況では速度を落とし、慎重に運転してください。しばらくブレーキを使用していない濡れた路面では、当初ブレーキの効きが弱くなります。このような状況では、定期的にブレーキを操作しておくことをお勧めします。

⚠ 本車両はABSを搭載していますが、濡れた路面や未舗装路などグリップの低い路面での制動には注意してください。

砂・泥・融雪剤混じりの雪などで路面が汚れている場合は、ブレーキディスクを点検し、必要に応じて低刺激性の洗浄剤で穴の内部などに付着した研磨性の汚れを除去してください。放置するとブレーキパッドの摩耗を早める原因となります。

車両への乗り降りは、自由な動作を妨げられることなく行ってください。バランスを崩したり転倒したりしないよう、必ず車両の左側から、サイドスタンドを立てた状態で乗り降りしてください。

⚠ 車両の安定を保つため、乗車の際は運転者が最初に乗る、降車の際は運転者が最後に降りるようにしてください。

乗車

サイドスタンドに体重をかけないよう、ハンドルを正しく握って乗車してください。発進の準備が整うまで、両足を地面につけて車両を直立姿勢に保ってください。

⚠ サイドスタンドは、運転者および同乗者が乗車していない状態での車両重量と最小限の荷重を支えるよう設計されています。

⚠ 乗車時に両足を同時に地面につけられない場合は、右足のみを地面につけてください。車両の左側はサイドスタンドで支えられているため、バランスを崩した場合や転倒しそうな場合に備えるためです。

同乗者が乗車する際は、あらかじめステップを展開し、乗車の準備ができるまで待ってください。

⚠ 運転者は、同乗者に正しい乗車方法を指導してください。同乗者は、運転者および車両のバランスを崩さないよう、細心の注意を払って乗車してください。

⚠ 同乗者は必ず車両の左側から、左側のステップを使用して乗車してください。

サイドスタンドをしまう際は、左足を使用してください。

降車

停止・駐車に適した、安定して障害物のない場所に車両を停止させてください。左足でサイドスタンドを完全に展開してください。

⚠ 降車時に両足を同時に地面につけられない場合は、右足のみを地面につけてください。車両の左側はサイドスタンドで支えられているため、バランスを崩した場合や転倒しそうな場合に備えるためです。

車両を走行可能な状態に保ったまま、同乗者が降車するのを待ってください。

⚠ 同乗者は必ず車両の左側から、左側のステップを使用して降車してください。

⚠ 運転者は、同乗者に正しい降車方法を指導してください。同乗者は、運転者および車両のバランスを崩さないよう、細心の注意を払って降車してください。

⚠ 飛び降りたり、足を伸ばして地面に触れようとしたりしないでください。車両の安定性とバランスが損なわれるおそれがあります。

サイドスタンドを接地させるように車両を傾けてください。降車後、ハンドルを左いっぱいに切ってください。

⚠ 車両が停止し、安定していることを確認してください。

🚫 ナンバープレートホルダーのフレームを持って車両を持ち上げないでください。破損のおそれがあります。

慣らし運転について

エンジン

0～1000km(0～600マイル)の走行距離は、エンジンの寿命において最も重要な期間です。そのため、以下の指示に必ず従ってください。エンジンは新品の状態にあるため、最初の1000km(600マイル)走行時には過度な負荷をかけないでください。この期間中、エンジン各部は摩耗し互いに馴染むことで適切なクリアランスが形成されます。長時間の全開走行やエンジンの過熱を招く条件での走行は避けてください。

0～500km(0～300マイル)

- 5000rpmを超える回転数での連続使用は避けてください。
- 1時間使用することにエンジンを停止し、5～10分間冷却してください。
- エンジン回転数を時々変化させ、常に同じスロットル開度を保たないようにしてください。

500～1000km(300～600マイル)

- 7500rpmを超える回転数での連続使用は避けてください。
- 各ギアで自由に加速してかまいませんが、全開加速は避けてください。

① 1000km(600マイル)走行時点で、「定期点検整備計画」に示す最初の点検を実施してください。

1000km(600マイル)以降

- この時点から、車両を通常どおり使用できます。

△ エンジン回転数は、常にタコメーターのレッドゾーン外に保ってください。

△ 慣らし運転中にエンジンの不調が生じた場合は、直ちにFantic Motor正規サービスセンターにご連絡ください。

ブレーキシステム

ブレーキパッドは新品のため、ディスクとの当たりを最適化するための慣らし運転が必要です。ブレーキの慣らしには、市街地走行で約200km(125マイル)が必要です。この間は制動距離を長めにとり、ブレーキレバーをやや強めに操作してください。急ブレーキや長時間の連続ブレーキは避けてください。

車両の始動と停止

始動

キーを時計回りに回してステアリングロックを解除し、正しい姿勢で乗車してください。サイドスタンドは完全に格納してください。

- ① サイドスタンドを降ろした状態では、ギアをニュートラルにした場合のみエンジンを始動できます。ギアを入れようとすると、エンジンが停止します。



安全のため、必ず前後ブレーキをかけ、クラッチレバーを握り、ギアがニュートラルであることを確認したうえでエンジンを始動してください。



キーを(ON)位置に回し、数秒待つてデジタルダッシュボードが標準表示になるのを待ちます。



ボタン「A」を位置「1」から位置「2」へ押してエンジンストップ機能を解除します。続けて、位置「3」のボタンを押してエンジンを始動します。

- ① エンジンには十分に暖機することをお勧めします。最初の数kmは低速で走行し、冷間時に急な操作をしないでください。



エンジン停止

- ⚠ 走行中にエンジンストップスイッチを操作しないでください。エンジンが急に停止し、機械的な損傷や車両の制御を失う危険があります。
- ⚠ クラッチを急激に、または素早く戻さないでください。エンジンストールや意図しない加速を招き、前輪が浮き上がるおそれがあります。急停止や急な減速も避けてください。



クラッチと前後ブレーキを同時に操作しながら徐々に減速し、車両を完全に停止させます。クラッチを握ったまま、ギアをニュートラルに入れます。次にキーを反時計回りに回して(OFF)位置にし、エンジンストップスイッチを押します(「エンジンストップスイッチ」の項を参照)。サイドスタンドを下ろし、車両の左側から降車します。必要に応じてステアリングロックをかけます(「ステアリングロックの使用」の項を参照)。

- ① キーを(ON)位置にしたまま放置すると、バッテリーが消耗し、交換が必要になることがあります。

発進とギアチェンジ

発進

エンジンを始動し、十分に暖機した後、クラッチレバーを操作し、チェンジペダルを踏み込んで1速に入れます。ダッシュボードのニュートラルインジケータ(N)が消灯します。



クラッチをゆっくり戻しながら徐々にスロットルを開け、車両を発進させます。

- ① 加速時、エンジンの重大な損傷を防ぐため、エンジン回転数は10000rpm(「デジタルダッシュボード」の項のタコメーター表示を参照)を超えないよう制御されています。



ギアチェンジ

ギアを変更する際は、スロットルを戻し、クラッチレバーを操作したうえで、シフトアップの場合はチェンジペダルを上へ上げ、シフトダウンの場合は下に踏み込みます。

① 車両の運転に慣れていない場合は、各操作系統や機能に十分慣れることが重要です。

⚠ ギアチェンジは1段ずつ行ってください。一度に2段以上シフトアップ・ダウンすると、エンジンが適正回転域を外れ、許容最高速度を超えるおそれがあります。

安全なブレーキ操作

⚠ 早めに減速し、シフトダウンしてエンジンブレーキを活用したうえで、前後のブレーキをバランスよく徐々に操作してください。

⚠ 車両が完全に停止する前にクラッチを操作し、エンジンの急停止を防いでください。

⚠ 濡れた路面、未舗装路、砂利・落ち葉・氷など滑りやすい路面ではグリップが低下するため、特に注意してください。急ブレーキや前輪ブレーキの過度な使用は、車輪のロックや転倒のリスクを高めるため避け、穏やかに操作してください。

ABS(アンチロックブレーキシステム)

本車両には、選択したライディングモードに応じて前輪のみ、または前後輪の両方に作動するABSシステムが搭載されています。詳細は「ライディングモードの選択」の項を参照してください。

ABSは、フォニックホイール「A」のロック傾向を角速度センサー「B」で検知し、ブレーキ回路内の圧力を制動時に調整する電子油圧式の装置です。

このシステムにより、従来の制動システムと比較して制動時の車両安定性が向上し、転倒のリスクが低減されます。

- ⚠ 車両の物理的な限界を超える走行はしないでください。天候や路面状況を常に評価し、適切な速度を維持することは運転者の責任です。
ABSは、判断ミスや車両の誤った使用を補うことはできません。



- ① バッテリーに不具合が生じた場合、ABSシステムは作動しなくなります。

- ⚠ 時速5km(3マイル)以下では、ABSシステムは作動しません。特に低速走行時、グリップの低い状況では十分注意してください。

- ① ABSシステムは、フォニックホイールからの情報を受け取り、前輪のみ、または前後輪の両方に作動します。フォニックホイールが常に清潔で、およびセンサーとの距離が一定に保たれていることを定期的を確認してください。点検・調整については、Fantic Motor正規サービスセンターにご連絡ください。

ライディングアシストテクノロジー

本車両には、さまざまな走行条件下でより高い安全性と制御性を確保するための先進的な電子ライダー支援システムが搭載されています。「STREET」ライディングモードでは、これらの機能は常に有効です。無効にする方法については、「ライディングモードの選択」の項を参照してください。

トラクションコントロール(TC)

トラクションコントロール(TC)は、グリップの低い状況における後輪のスリップのリスクを低減し、運転者の安全性を高める先進機能です。本システムは常時ホイール速度を監視し、ABSおよびIMU(車両の傾斜を検知するセンサー)からの信号を利用して、後輪のスリップを検知します。スリップを検知すると、TCがエンジン出力を調整して性能を制限し、最適なトラクションを維持します。本システムは単一の作動設定のみを備えています。

コーナリングABS

ABSシステムには「コーナリングABS」機能が統合されており、車両が傾斜した状態でもABSの性能を最適化し、車両および路面状況の物理的な限界内で車輪のロックやスリップを防止します。

- ① 「コーナリングABS」機能に不具合が生じ、警告灯が点灯した場合でも、車両は標準のABS機能を維持します。速度を落とし、Fantic Motor正規サービスセンターにご連絡ください。

同乗者用シートの取り外し

同乗者用シートを取り外すには:

- 車両をサイドスタンドで立てます。
- 図に示すシート部分の下にあるネジ「A」を緩めます。

🔧 同乗者シートネジ: 3N・m (0.3m・kgf、2ft・lbf)

- 同乗者用シート「B」を運転者側にスライドさせます。

① 走行前に、シートが正しく固定されていることを確認してください。



駐車

駐車場所は慎重に選び、道路標識および以下の指示を必ず守ってください。

- ④ 車両を壁に立てかけたり、地面に横たえたりして駐車しないでください。駐車場所が安定した水平な場所であることを確認してください。
- ⚠ 排気管、エンジン、ラジエーター、ブレーキディスクなど高温になる部分が、人や周囲の環境にとって危険とならないようにしてください。
- ④ キーを差したまま、エンジンをかけた状態で車両を放置しないでください。

盗難防止のために

キーを抜き、ステアリングロックをかけたうえで、できるだけ安全で屋根のある場所に駐車してください。

サイドスタンド

- ① 走行を開始する前に、サイドスタンドが完全に格納されていることを確認してください。
- ④ サイドスタンドに運転者や同乗者の体重をかけないでください。

サイドスタンドは車体左側にあります。車両をまっすぐに保持しながら、左足でサイドスタンドの上げ下げを行ってください。

サイドスタンドには、以下の機能を持つ点火回路遮断システムが備わっています：

- －ギアが入った状態でサイドスタンドが上がっており、クラッチレバーが握られていない場合、始動を防止します。
- －ギアが入った状態でクラッチレバーが握られていても、サイドスタンドが下りたままの場合、始動を防止します。
- －ギアが入った状態でサイドスタンドが下りている場合、エンジンを停止させます。

- ① サイドスタンドスイッチは点火遮断システムの一部であり、エンジンを自動的に停止させる機能を持ちます。サイドスタンド本体とあわせて、定期的に正常な作動を確認し、不具合がある場合はFantic Motor正規サービスセンターにご連絡ください。

積載

車両に荷物を積むと走行性能に影響することがあります。重量バランスを保つため、荷物はできるだけ重心付近にまとめ、ハンドル、フォーク、フェンダー、ナンバープレートホルダーを避けてしっかりと固定することをお勧めします。固定が不十分な荷物は、特にコーナリング時の安定性・操縦性を低下させます。安定性・操縦性を損なわないよう、過積載は避けてください。荷物が音や光による警告装置を覆ったり、はみ出したりしないようにしてください。

サイレンサー

この部品は排気ガスに関して、一酸化炭素を酸化させて二酸化炭素に変換し、未燃焼の炭化水素を水蒸気に変換し、窒素酸化物を還元して酸素と窒素に変換する役割を担っています。

- ① 使用中、排気系統の触媒に相当する部分が鮮やかな赤色になることがあります。この変色は正常な現象であり、触媒が正しく機能していることを示します。
- 🚫 乾いた下草がある場所の近くでの停車・駐車は避けてください。
- 🚫 子供や許可されていない人が近づける場所に車両を放置しないでください。
- ⚠️ サイレンサーは高温になるため、完全に冷えるまで接触を避け、十分注意してください。
- 🚫 排気系統を改造・変更・不正操作することは禁止されています。
- 🚫 有鉛ガソリンは触媒を損傷するため使用しないでください。

排気系統に穴や錆、摩耗の兆候がないか点検してください。排気系統が常に正常に機能していることを確認してください。異常な音や音量の増加がある場合は、速やかにFantic Motor正規サービスセンターにご連絡ください。

- ① 整備・修理・交換作業は、Fantic Motor正規サービスセンターにご依頼ください。

服装

走行を開始する前に、必ずヘルメットを着用し、あごひもを締めてください。ヘルメットは認証品で、破損がなく、シールドも清潔で無傷のものを使用してください。走行の妨げとなるような下げ物のない、適切な保護服を着用してください。転倒時の被視認性・保護性を高めるため、明るい色や反射素材の服を着用することをお勧めします。転倒時に危険となる鋭利な物は身につけたり携行したりしないでください。

① これらの注意事項は同乗者にも同様に適用されます。

アクセサリ

Fantic Motorは、正規販売店で入手できる純正アクセサリの使用をお勧めします。純正品以外のアクセサリを取り付ける場合、その選定および正しい取り付けについては使用者の責任となります。

アクセサリは、以下に該当するものであってはなりません：

- 人、財産、運転者に損害を与えるもの。
- サスペンションのストロークを制限するもの。
- 音や光による警告装置の一部または全部を覆うもの。
- ステアリングや各種操作系統(ブレーキ、スロットルなど)の使用を妨げるもの。
- 操舵角を減少させるもの。
- コーナリング時の車両の傾斜を妨げるもの。

大型のフェアリングやウインドシールドを取り付けると、車両の安定性が低下することがあります。Fantic Motor指定のアクセサリを除き、電装品の取り付けや改造は行わないでください。音や光による警告装置の作動に必要な電力が失われる危険があります。

輸送

車両を輸送する前に、燃料タンクを完全に空にし、不意の漏れを防いでください。各部が乾いていることも確認してください。車両は1速に入れた状態でしっかりと固定し、輸送に適した安定した状態にしてください。

⚠ 故障時に、車両を牽引したり、危険な方法で対処したりしないでください。事故やさらなる車両の損傷につながるおそれがあります。

給油

- ⚠ 給油中は、喫煙、火気の使用、火花を発生させるおそれのある電気機器の使用を禁止します。守らない場合、火災や爆発により人や財産に重大な危険を及ぼすおそれがあります。
- 🚫 給油中に、燃料へ添加剤やその他の物質を加えないでください。
- ① 給油中は、燃料をこぼさないよう注意してください。じょうごなどの給油補助具を使用する場合は、燃料を汚染しないよう、必ず清潔な状態のものを使用してください。



- ① 「推奨製品一覧」の項に指定された種類の燃料のみを使用することをお勧めします。指定以外の燃料を使用すると、燃料系統を損傷し、エンジンの作動に支障をきたすおそれがあります。

給油するには、カバー「A」を開けます。キー「B」をロックに差し込み、時計回りに回します。キャップ「C」を開けて給油します。給油後、キャップ「C」を軽く押して閉めます。キー「B」を反時計回りに回してから抜き取ります。カバー「A」を閉じます。

- ① エンジンを始動する前に、タンクキャップが確実に閉まっていることを確認してください。

車両各部の名称と機能

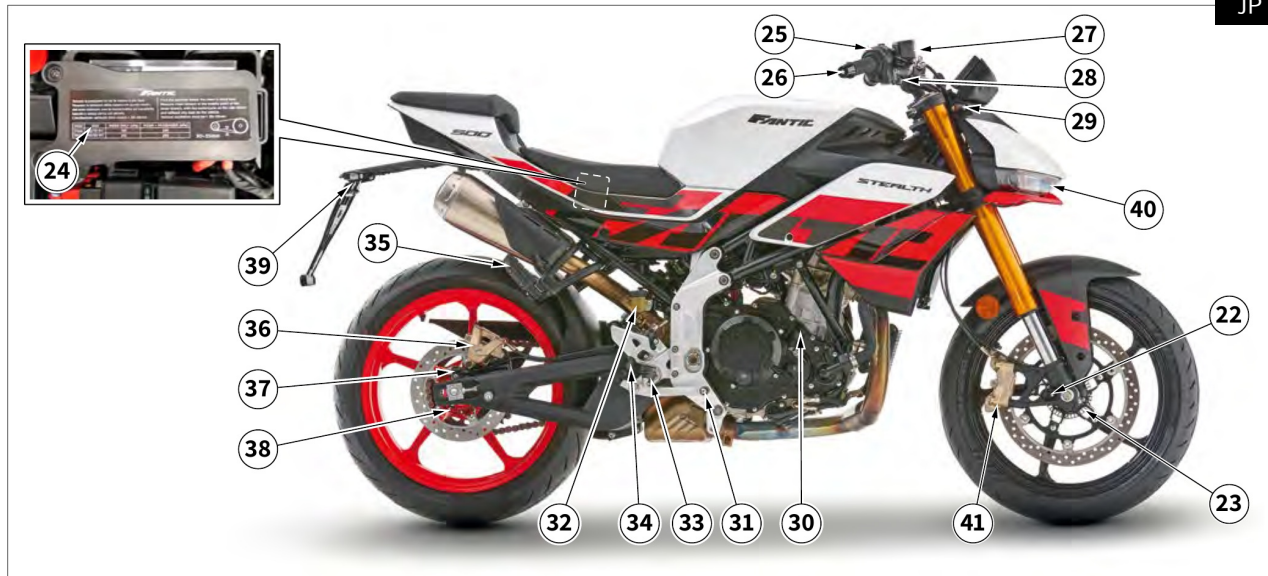
各部の名称



1. 左側ヘッドライト
2. 左前側方向指示器
3. デジタル・ダッシュボード
4. クラッチレバー
5. 左側集中スイッチ
6. 燃料油キャップ
7. 燃料タンク
8. ライダーシート

9. パッセンジャーシート
10. リア・マッドガード
11. テールライト
12. ライセンスプレートホルダー
13. ライセンスプレートライト
14. 左後部方向指示器
15. 左側同乗者用フットレスト

16. 左側運転者用フットレスト
17. サイドスタンド
18. ギアシフトレバー
19. ラジエーター
20. フロントマッドガード
21. USBポート (36ページ参照)



22. フロントスピードセンサー
23. フロントトーンホイール
24. タイヤ空気圧・チェーン遊び
表示ラベル
25. 右側集中スイッチ
26. スロットルグリップ
27. フロントブレーキマスター
シリンダー
28. フロントブレーキレバー

29. 右前側方向指示器
30. エンジンオイルキャップ/
レベルゲージ
31. リアブレーキペダル
32. リアブレーキ・オイルタンク
33. 右側運転者用フットレスト
34. リアブレーキマスター
シリンダー
35. 右側同乗者用フットレスト
36. リアブレーキキャリパー

- 37. リアスピードセンサー
- 38. リアトーンホイール
- 39. 右後部方向指示器
- 40. 右側ヘッドライト
- 41. フロントブレーキキャリパー

操作系

JP



1. ナビゲーションボタン (56ページ参照)
2. セレクションボタン (56ページ参照)
3. イグニッションスイッチ
4. エンジンストップ/スタートボタン
5. パッシングボタン
6. ホーンボタン
7. 方向指示器
8. ヘッドライト ハイ/ロー切り替えボタン
9. 非常警告灯 (ハザード) スイッチ

10. 左側後写鏡
11. 右側後写鏡

車両各部の名称と機能

USBポート

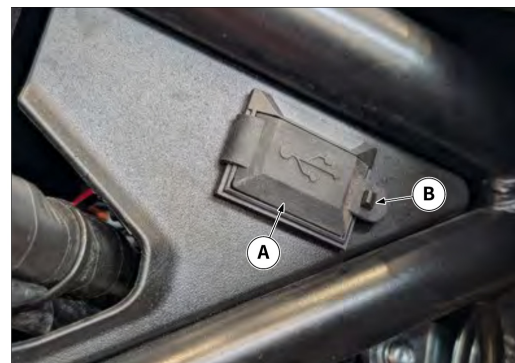
USBポート「21」は、フロントフォークと燃料タンクの間、車両左側に位置しています。



- ① USBポートはスマートフォンなど、類似機器の充電専用です。それ以外の用途での使用は禁止されています。

– USBポートを使用する際は、タブ「B」を外し、保護ゴムキャップ「A」を持ち上げてください。

- ⚠ USBポートを使用しないときは、保護キャップ「A」を完全に閉じ、タブ「B」がしっかり固定されていることを確認してください。



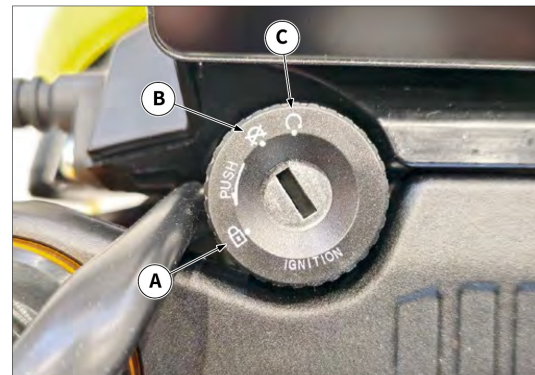
運転のための操作と調整

イグニッションスイッチ

イグニッションスイッチは、車両前部、ダッシュボードのすぐ下側に位置しています。

イグニッションスイッチの機能は以下の通りです：

- A. 車両は「パーキング」モード(Park)になります。エンジンは停止した状態でポジションライトは点灯したままとなり、薄暗い場所に駐車した際の視認性を確保します。
- B. ハンドルバーはロックされ、車両を始動することはできません。灯火類もすべて使用できません。キーを引き抜くことができます。
- C. 車両および灯火類は操作できない状態になり、キーを引き抜くことができます。



- ① 車両には2本のキーが付属し、1本はスペアキーです。スペアキーは車両とは別の安全な場所に保管してください。
- ① イグニッションスイッチが「B」の位置にあるとき、灯火類は消灯します。
- ① このキーは、イグニッションスイッチのほか、燃料タンクキャップおよびシートの開閉にも使用します。
- ① キーを「ON」の位置にすると、ポジションライトが自動的に点灯します。エンジンを始動すると、ロービーム・ヘッドライトが自動的に点灯します。

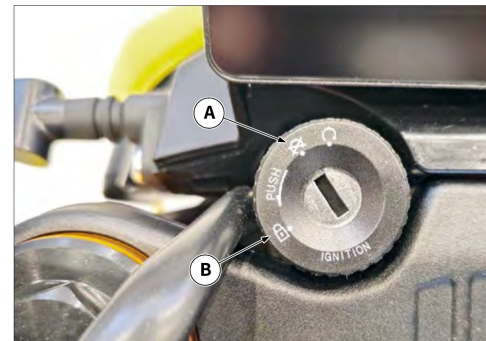
ステアリングロックの方法

イグニッションキーを「OFF」の位置「A」に回します。

サイドスタンドを左足で出し、車両から降ります。

キーを押しながら反時計回りに回して位置「B」にし、ハンドルバーをゆっくり左右に動かしながらステアリングロックが掛かる位置を探します。

ロックが掛かったらキーを離し、イグニッションスイッチから抜き取ります。



エンジン停止ボタン

このボタンを押すとエンジンが停止します。安全スイッチ、または緊急停止スイッチとしての機能を持ちます。

⚠ 走行中はこのスイッチでエンジンを停止しないでください。突然のエンジン停止は車両のコントロールを失う原因となり、事故や負傷、車両の損傷につながるおそれがあります。



スタートボタン

イグニッションキーを差し込んで「ON」の位置にし、ギアをニュートラルにしてエンジンストップ機能を解除した状態で、スタートボタンを押すとエンジンが始動します。



ホーンボタン

押すとホーンが鳴ります。



ターンシグナルスイッチ

スイッチを左右どちらかに動かすと、その方向のウインカーが点滅します。

スイッチを中央に戻すと、ウインカーは消灯します。



ロービーム/ハイビーム切り替えスイッチ

ライトスイッチを押すとハイビームが点灯します。

もう一度押すとロービームに戻ります。



パッシングボタン

押すとハイビームが点滅します。通常、危険の警告や緊急事態を知らせる際に使用します。

ボタンを離すとパッシングは解除されます。



非常警告灯（ハザード）ボタン

ボタンを押すと車両左右の非常警告灯が同時に点滅し、視認性を高めます。

これにより、周囲のドライバーに緊急事態や路上の危険を知らせることができます。

もう一度ボタンを押すと、非常警告灯は消灯します。



運転のための操作と調整

サスペンション

フロントサスペンション

- ⚠ フロントサスペンションオイルの交換は、ファンティック正規サービスセンターにご依頼ください。

整備間隔については、「メンテナンススケジュール」の「フォーク」の項を参照してください。



点検

フロントブレーキレバーを握った状態でハンドルバーを繰り返し押し込み、フォークを圧縮させます。動作はゆっくりと丁寧に行い、フォークインナーチューブの表面にオイルの跡がないことを確認してください。

- ⚠ 不具合が見られる場合、または専門的な点検が必要な場合は、ファンティック正規サービスセンターにご連絡ください。



調整

このタイプのサスペンションは調整を必要としません。サスペンションの基本セッティングはファンティックモーターが行っています。

リアサスペンション

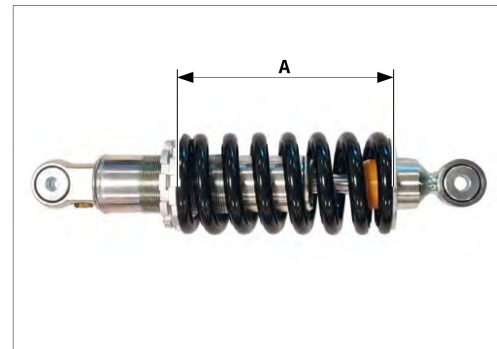
整備間隔については、「メンテナンススケジュール」の「リアショックアブソーバー」の項を参照してください。

リアホイールのサスペンションは、上部をフレームに、下部をスイングアームに接続されたショックアブソーバーユニットで構成されています。

ショックアブソーバー・プリロード調整

基本のサスペンションセッティング（スプリングプリロード）「A」は、ファンティックモーターにより調整済みです：

143.5 mm (5.65 in)



⚠ この調整を行うために必要な技術知識をお持ちでない場合は、車両の損傷や走行安全性の低下を避けるため、ファンティック正規サービスセンターにご相談ください。

① この作業には、フックレンチ2本（標準では付属しません）が必要です。

路面状況や積載条件に応じて、以下の範囲内でスプリングプリロードを調整することができます（寸法「A」の範囲）：

最小値：150 mm (5.91 in)

最大値：137 mm (5.39 in)

⚠ 調整を行う前に、エンジンが完全に冷えていることを確認してください。

- フックレンチ2本を使用してリテイニングリングナット「1」を緩め、リングナット「2」を希望の位置まで回して移動させます。

① ロックナット外径：

リングナット「1」：67 mm (2.64 in)

リングナット「2」：63 mm (2.48 in)

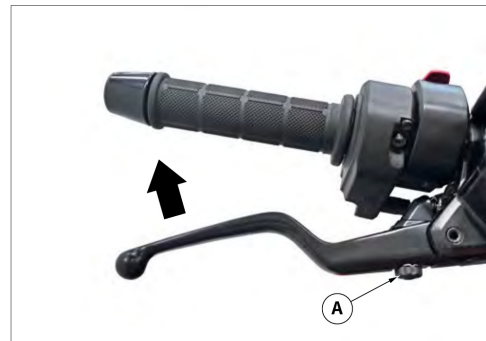
- スプリング「A」のプリロード寸法を測定し、規定範囲内にあることを確認します。
- リテイニングリングナット「1」を再び締め付けます。



- ⚠ アジャストリングナットを操作する際は、フックレンチが他の車両部品に当たってけがをしないよう、取り扱いに十分注意してください。
- ⚠ 破損を避けるため、アジャスターをファンティックモーターが定めた範囲を超えて無理に回さないでください。

フロントブレーキレバーの調整

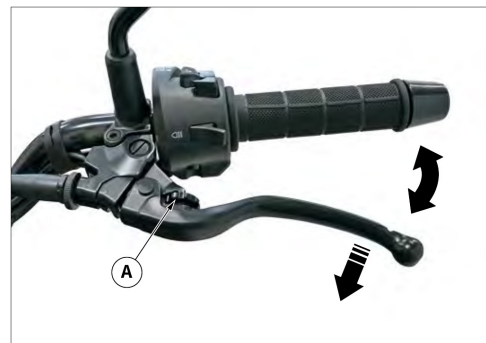
ブレーキレバーには、ハンドルグリップとレバーの間隔を調整するためのリングナット「A」が備わっています。リングナットを時計回りに回すとレバーがスロットルグリップから遠ざかり、反時計回りに回すと近づきます。



クラッチレバーの調整

クラッチレバーにも、ハンドルグリップとの間隔を調整するリングナット「A」が備わっています。

レバーを外側に押すとリングナット「A」を時計回り・反時計回りに回すことができ、ライダーの好みに応じてレバーとグリップの間隔を調整できます。



ヘッドライトおよびターンシグナル

フロントヘッドライト、テールライト、ライセンスプレートライト、ターンシグナルの取り外し、点検、交換については、ファンティック正規サービスセンターにご依頼ください。

フロントヘッドライトの光軸調整

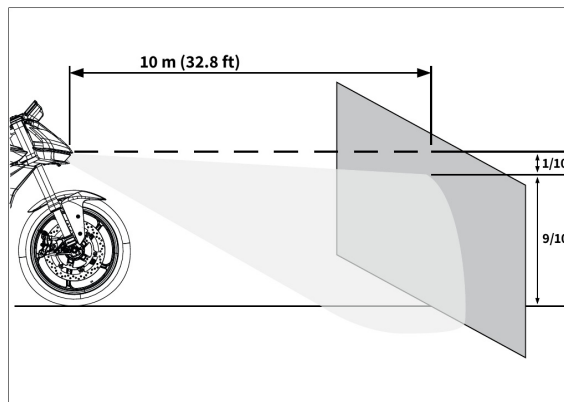
① 本手順はイタリア国内規則に基づくものです。使用国の法規に準拠するよう手順を調整してください。

① ヘッドライトの調整は2名で行うことを推奨します。

① 調整方法に確信が持てない場合は、ファンティック正規サービスセンターにご相談ください。

フロントヘッドライトの光軸が正しいことを確認するには、以下の手順で行ってください：

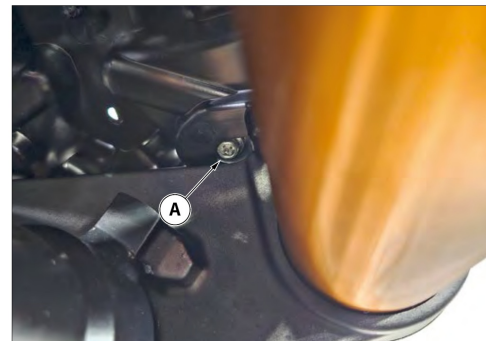
- タイヤの空気圧を規定値にし、シートに1名が着座した状態で、平坦で壁に対して垂直な地面に車両を置きます。
- 壁面に、両ヘッドライトの中心に対応する点をマークします。
- 車両を壁から10 m (32.8 ft) の距離まで後退させます。
- 壁に投影された光軸が、先にマークした点より10 cm (0.33 ft) 下にあることを確認します。



光軸がずれている場合は、次項の調整を行ってください。

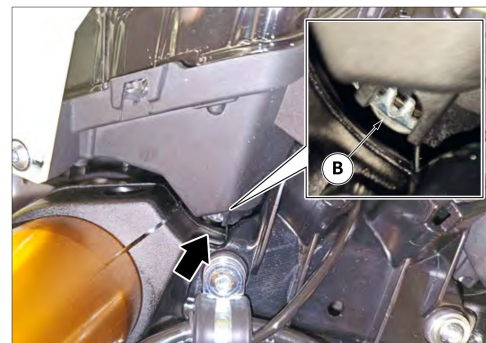
フロントヘッドライトの調整 (オプション1)

ハンドルバーを左いっぱいに切り、右側フロントヘッドライト後部にある調整スクリュー「A」を使ってヘッドライトの高さを調整し、最適な光軸位置になるまでスクリューを回します。続いてハンドルバーを右いっぱいに切り、左側ヘッドライトの調整スクリューを使って同様に調整し、左側についても最適な光軸位置を確保します。



フロントヘッドライトの調整 (オプション2)

各ヘッドライト下部にある調整ノブ「B」（左右各1個）を回して調整します。プラスドライバーを使用し、最適な光軸位置になるまでリングを回してください。



バックミラー

バックミラーの取り外し

① 以下の説明は左右いずれのミラーにも共通です。

車両を平坦で安定した路面にサイドスタンドで立てます。

ロックナット「A」を緩め、ミラーを反時計回りに回して取り外します。

⚠ 再取り付けの際は、ナットを締める前にミラーの支持ロッドがハンドルバーと平行になっていることを確認してください。



バックミラーの調整

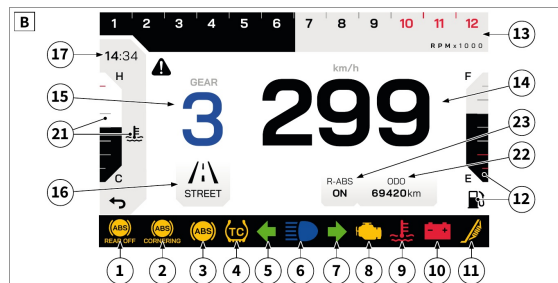
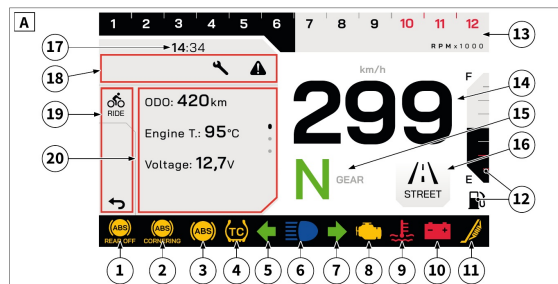
① 以下の説明は左右いずれのミラーにも共通です。

運転姿勢で車両にまたがり、必要に応じてミラーの角度を調整してください。



ダッシュボード

デジタルダッシュボード



A. フルディスプレイモード

B. 「RACE」ディスプレイモード

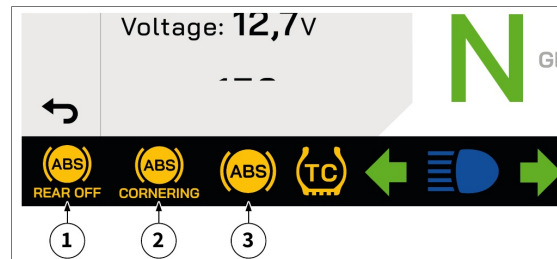
1. アンチロックブレーキシステム(ABS)表示灯 (橙)
2. ABSコーナリング表示灯 (橙)
3. ABS作動状況表示灯 (橙)
4. トラクションコントロール(TC)表示灯 {非搭載車は非表示} (橙)
5. 左方向指示器/非常警告灯 (緑)
6. ハイビーム表示灯 (青)
7. 右方向指示器/非常警告灯 (緑)
8. 機能不良表示灯(MIL) (橙)
9. 水温警告灯 (赤)
10. バッテリー電圧警告灯 (赤)
11. サイドスタンド表示灯 (橙)
12. 燃料残量
13. タコメーター
14. スピードメーター
15. ギア表示
16. ライディングモード
17. 時計
18. 通知エリア
19. インフォメーション/マルチメディア選択エリア
20. メイン情報ウィンドウ
21. 冷却水温
22. オドメーター
23. リアホイールABS作動状況

アンチロックブレーキシステム（ABS）表示灯

イグニッションキーを「ON」の位置に回すと、ダッシュボードの全ての表示灯が約5秒間点灯します。続いてABS「3」とABSコーナリング「2」の表示灯が点滅を始め、車速が5km/hに達するまでその状態が続きます。

「No ABS Communication」というメッセージが表示された場合は、表示灯「1」「2」「3」がすべて点灯したままになります。

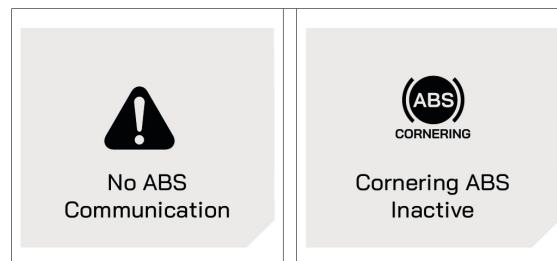
- ⚠ 車両の電源を一度切り、再度入れてください。それでもメッセージが消えない場合は、できるだけ早くファンテック正規サービスセンターに連絡し、ABSシステムの点検を受けてください。



ABSシステムに不具合や故障が発生すると、ABS表示灯「3」は次のいずれかの状態になります：

- 急速に点滅する場合：断続的な不具合が発生していることを示します。
- 点灯したままになる場合：アンチロックブレーキ機能が作動していないことを示します。

- ⚠ ABSに不具合が発生した場合は、十分注意しながら走行し、できるだけ早くファンテック正規サービスセンターにご連絡ください。



「ABS REAR OFF」表示灯「1」および「ABSコーナリング」表示灯「2」は、リアホイールのアンチロック制御が無効化されているときに点灯します。

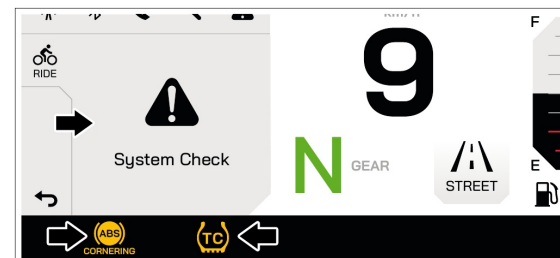
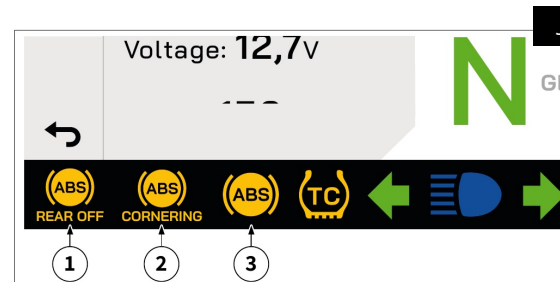
- ⚠ リアABSを無効化するライディングモードを選択していないにもかかわらずこれらの表示灯が点灯した場合は、十分注意しながら走行し、できるだけ早くファンテック正規サービスセンターに連絡してABSシステムの点検を受けてください。

ABSコーナリング「2」の表示灯は、システムに不具合が発生した場合や、ECUソフトウェアのバージョンが適合していない場合にも点灯し、インフォメーションウィンドウに「Cornering ABS Inactive」というメッセージが表示されます。

⚠ **ABSシステムの全部または一部が正常に機能していない場合、車両は従来型のブレーキシステムとして作動します。速度を落とし、ファンティック正規サービスセンターにご連絡ください。**

エンジンコントロールユニットにプログラムエラーが発生した場合、車両の全ての制御ユニットに不具合が生じるおそれがあります。この場合、「System Check」というメッセージが表示され、「ABSコーナリング」および「トラクションコントロール」の表示灯が点灯したままになります。

⚠ 「System Check」というメッセージが表示された場合は、できるだけ早くファンティック正規サービスセンターに連絡し、車両の点検を受けてください。



サイドスタンド表示灯

サイドスタンド表示灯は、サイドスタンドが格納されていない状態でギアが入っているときに点灯します。この場合、車両の損傷や事故を防ぐため、エンジンは自動的に停止します。ニュートラルの状態であれば、サイドスタンドが出ていてもエンジンは停止しません。

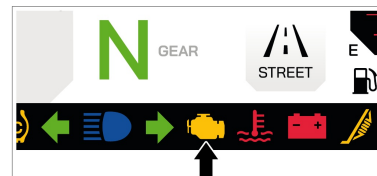
⚠ 走行を開始する前に、サイドスタンドを完全に格納してください。



機能不良表示灯 (MIL)

機能不良表示灯「MIL」は、車両のシステムがエンジンまたは電装システムの異常を検知すると点灯します。点灯した場合は、できるだけ早くファンテック正規サービスセンターで車両の点検を受けることをお勧めします。

⚠ 表示灯が点灯したまま走行を続けると、エンジンの損傷や排出ガスへの悪影響につながるおそれがあります。



ハイビーム表示灯

ハイビーム表示灯は、車両のハイビームが点灯しているときに点灯します。この表示灯は、対向車や交通量の多い状況でハイビームを使用しないよう、ライダーに注意を促す役割も果たします。

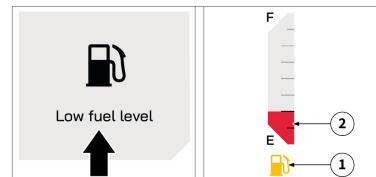
⚠ 他のドライバーを幻惑させないよう、不要な場合はハイビームを消灯してください。



燃料残量警告灯

燃料残量がゲージ下から2段目まで減少すると、警告灯「1」が橙色に点灯し、レベルゲージバーが赤色に変わり、インフォメーションウィンドウに「Low Fuel Level」というメッセージが表示されます。給油すると、表示灯は元の状態に戻ります。

⚠ できるだけ早く給油することをお勧めします。



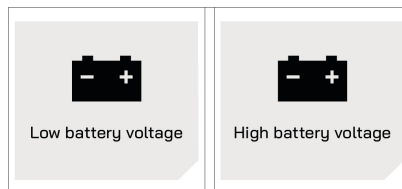
バッテリー電圧警告灯

バッテリー電圧警告灯は、検出された電圧が低すぎる場合、または高すぎる場合に点灯します。検出された異常の内容に応じて、インフォメーションウィンドウに次のいずれかのメッセージが表示されます：

- 電圧が低い場合：「Low battery voltage」というメッセージ
- 電圧が高い、または異常な場合：「High battery voltage」というメッセージ



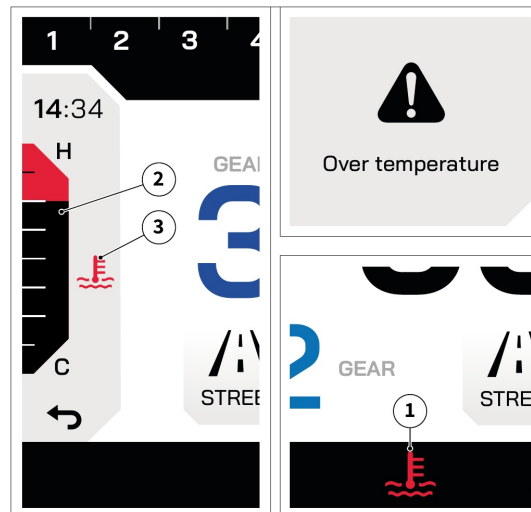
⚠ このような場合は、ファンティック正規サービスセンターに連絡し、バッテリーの点検および交換をご依頼いただくことをお勧めします。



冷却水温警告灯

冷却水温が115°C（239°F）に達すると、警告灯「1」が点灯し、インフォメーションウィンドウに「Over temperature」というメッセージが表示されます。

- ⚠ この状態になったら、直ちに走行を中止し、エンジンを停止して損傷を防いでください。
- ⚠ 冷却水量を確認し、エンジンが十分に冷えるのを待ってから走行を再開してください。
- ⚠ 症状が続く場合は、ファンティック正規サービスセンターにご連絡ください。



「RACE」表示モードが有効な場合、冷却水温インジケーターバー「2」が表示されます。エンジン温度が危険なしきい値を超えると、バー「2」の上位2段と警告灯「3」が赤色に変わります。

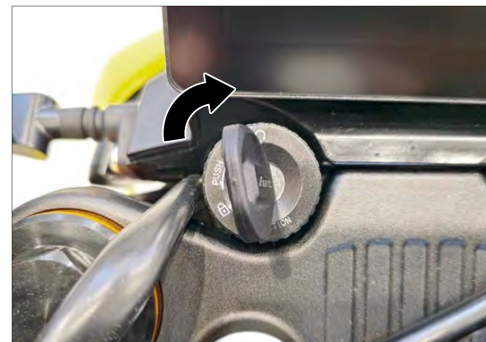
通知エリアのアイコン

通知エリアには、以下のアイコンが表示されることがあります：

アイコン	説明	備考
	次回点検の期限を超過しています。	「メンテナンスプラン」の項を参照してください。
	一般アラーム。	60ページで説明する通知センターにアクセスしてください。

ダッシュボードコントロール

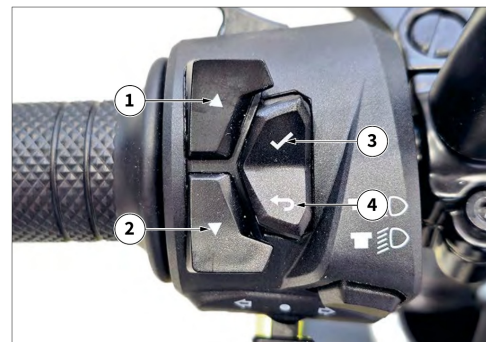
イグニッションスイッチを「ON」位置に回すと、すべてのモードと表示灯が一瞬点灯します。



左側スイッチボックスには、デジタルダッシュボードを操作するためのボタンが備わっています：

- 上方向ナビゲーションボタン「UP」▲
- 下方向ナビゲーションボタン「DOWN」▼
- 選択/決定ボタン「SET」✓
- 戻るボタン「BACK」←

「UP」および「DOWN」ボタンでメニューを操作し、「SET」および「BACK」ボタンで各設定項目の選択または取り消しを行います。

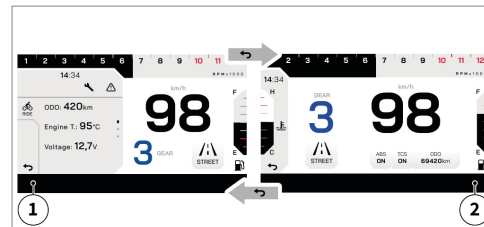


表示モードの選択

ダッシュボードには、次の2種類の表示モードがあります：

- フルモード（標準）
- 「RACE」モード

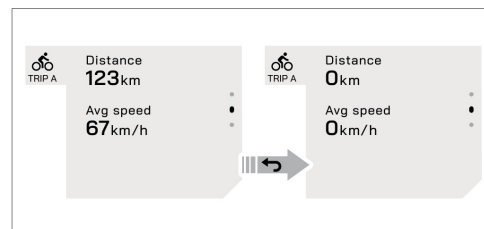
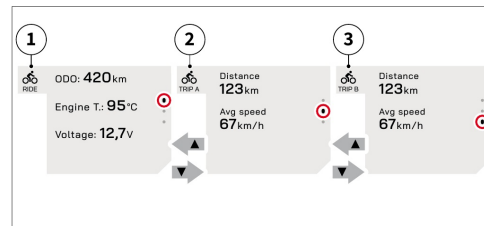
「BACK」ボタンを短く押すと、表示モードを切り替えることができます。



ライディング情報メニュー（RIDE）

フルモード表示中は、複数の画面を切り替えることで車両に関する主要な情報を確認できます。「UP」▲および「DOWN」▼ボタンを短く押すと、情報画面を切り替えられます。

1. 「RIDE」：一般情報
 - オドメーター
 - 水温
 - バッテリー電圧
2. 「TRIP A」：トリップAの記録データ
 - 走行距離
 - 平均速度
3. 「TRIP B」：トリップBの記録データ
 - 走行距離
 - 平均速度



TRIP AおよびTRIP Bの数値をリセットするには、「BACK」ボタンを長押ししてください。

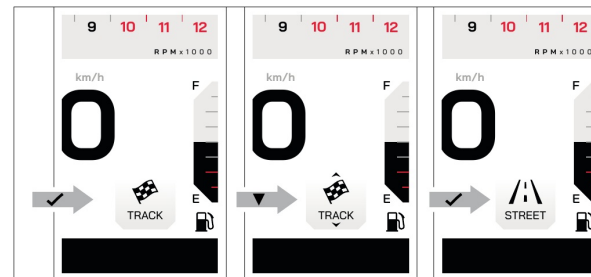
① この情報は、イグニッションスイッチが「ON」位置にあり、車両が通常走行している間に表示されます。

ライディングモードの選択

車両では、以下のライディングモードから選択できます：

- 「STREET」（標準）
- 「RAIN」
- 「TRACK」
- 「CUSTOM」

⚠ ライディングモードの選択・変更は、車両が停止している状態で行ってください。



以下の手順で操作します：

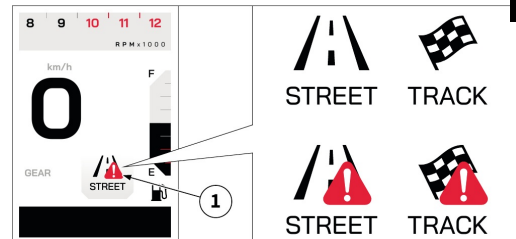
- 「SET」✓ボタンを短く押し、ライディングモードの選択を有効にします。
- モードフレームに選択矢印が表示され、「DOWN」▼ボタンで選択可能なモードを切り替えられます。
- 「SET」✓ボタンをもう一度押して、選択したモードを確認します。

⚠ ライディングモードを変更するたびに、車両が必要な調整を行うまで数秒間待ってください。

ライディングモード	トラクションコントロール	ABS	マップ
STREET	作動（レベル1）	作動	FUN
RAIN	作動（レベル1）	作動	WET
TRACK	作動（レベル1）	リアホイールでは非作動／「ABSコーナリング」オプションは非作動	FUN
CUSTOM	カスタム設定が可能		

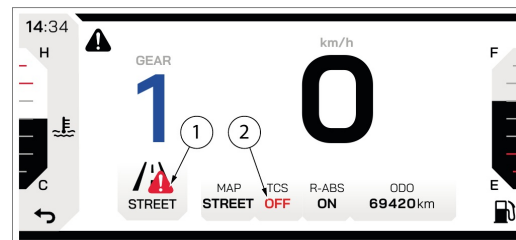
- ① モードを変更するたびに、ダッシュボードは各システムのチェックを行います。

- ⚠ 選択中のライディングモードの横に赤い警告マーク「1」が表示された場合は、故障または不具合を示しています。



- ① 「RACE」表示モードでは、危険信号「1」に加えて、検出されたエラー内容を示す表示「2」（赤）も表示されます。

エラーが発生した場合は、モードの再設定を試みてください。それでも解消しない場合は、車両の電源を一度切ってから再度入れ、ライディングモードの設定をやり直してください。

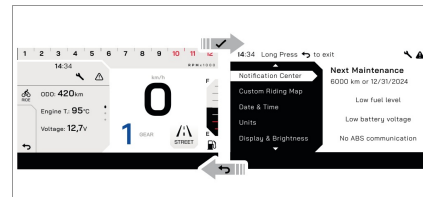


- ⚠ モード上のエラー信号が消えない場合は、一部の安全システムが正常に作動しない可能性があるため、十分注意して走行し、できるだけ早くファンティック正規サービスセンターで点検を受けることをお勧めします。

設定メニューへのアクセス

ダッシュボードの設定メニューにアクセスするには、以下の手順で操作します：

- 車両を停止させる。
- イグニッションキーを「ON」にする（ダッシュボード電源オン）。
- 「SET」✓ボタンを長押しする。

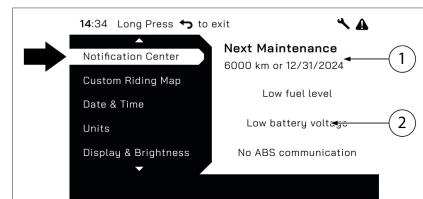


「UP」▲および「DOWN」▼ボタンで設定メニュー内の項目を選択し、「SET」✓ボタンで選択した項目にアクセスできます。「BACK」←ボタンを長押しすると、設定メニューを終了します。

通知センター

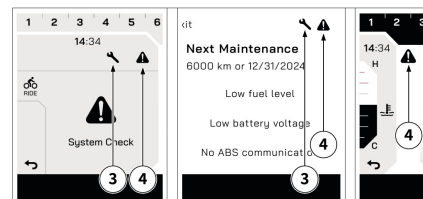
この画面では、次回点検までの残り走行距離「1」および期限、直近3件の警告メッセージの概要「2」を確認できます。

- ① エラーメッセージの原因となった問題が解消されない場合、ダッシュボードを再起動しても、そのメッセージは通知センターに表示され続けます。



残り走行距離がなくなった場合、または期限を超過した場合、メンテナンスシンボル「3」が表示され、点灯し続けます。

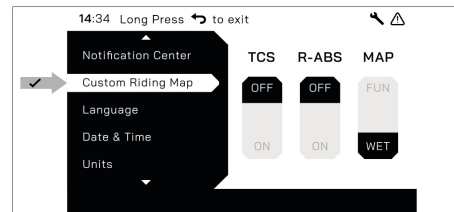
- ① 1件以上の警告メッセージがある場合、通知エリアに警告シンボル「4」が表示されます。



カスタムライディングマップ

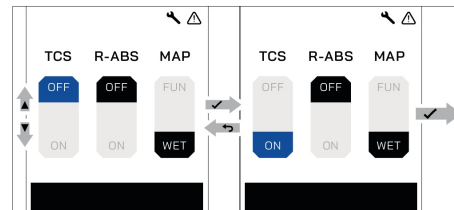
この画面では、「CUSTOM」ライディングモードの設定内容を変更できます。設定できる項目は次のとおりです：

- TCS＝トラクションコントロールシステム：OFF＝非作動、ON＝作動
- R-ABS＝リアホイールABS：OFF＝リアホイールのブレーキアシスト非作動（フロントABSは作動継続）、ON＝フルブレーキアシスト作動
- MAP＝エンジンマッピング：FUN＝フルパワー出力、WET＝パワー出力を抑制



「CUSTOM」ライディングモードを変更するには、「SET」✓ボタンを押してカスタマイズを開始します。まず「TCS」の設定から始まり、「UP」▲および「DOWN」▼ボタンで希望の設定を選び、「SET」✓ボタンで確定すると、続けて次の項目に進みます。

① 前の項目に戻るには、「BACK」ボタンを押してください。



① 設定は、すべての項目を確定し「SET」✓ボタンを押した後にのみ保存されます。

設定を終了するには、「BACK」⇐ボタンを長押ししてください。

日付と時刻

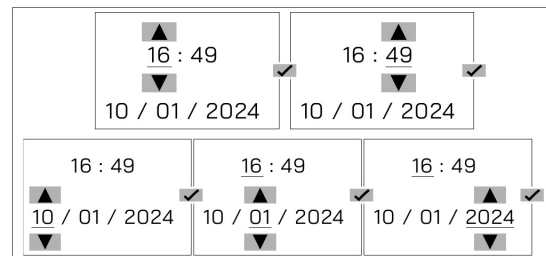
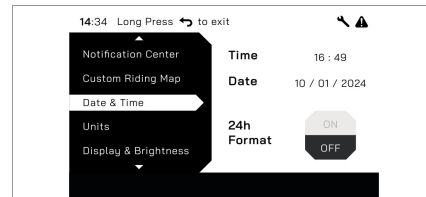
このメニュー画面では、以下の項目を順番に設定できます：

- 時
- 分
- 日
- 月
- 年
- 24時間表示 (ON/OFF)

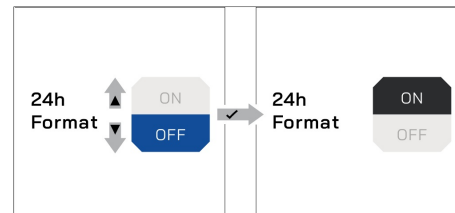
「SET」✓ボタンを押すと、日時および表示形式の設定手順が開始します。

「UP」▲および「DOWN」▼ボタンで「時」の数値を選び、「SET」✓ボタンで確定します。続けて同じ手順で「分」を設定し、「日」「月」「年」についても同様に設定します。

- ① 「UP」▲・「DOWN」▼ボタンを押し続けると、数値が自動的にスクロールします。



最後に「UP」▲および「DOWN」▼ボタンで時刻表示形式を選び、「SET」✓ボタンで確定すると、日時の設定が完了します。(ON=24時間表示、OFF=12時間[AM/PM]表示)

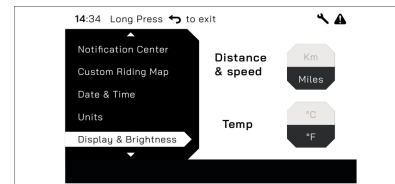


単位

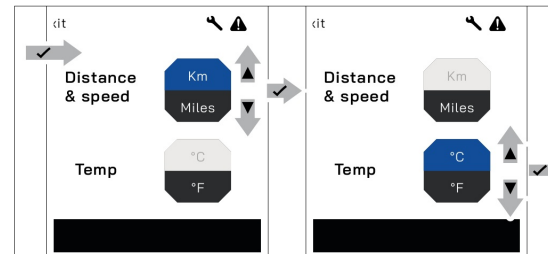
このメニュー画面では、以下の項目を順番に設定できます：

- 距離および速度の単位
- 温度の単位

「SET」✓ボタンを押すと、単位設定の手順が開始します。



「UP」▲および「DOWN」▼ボタンで「Km」（キロメートル）または「Miles」（マイル）を選び、「SET」✓ボタンで確定します。続けて、温度の単位を「°C」（摂氏）または「°F」（華氏）から選び、「SET」✓ボタンで確定すると設定が完了します。



表示とブライトネス

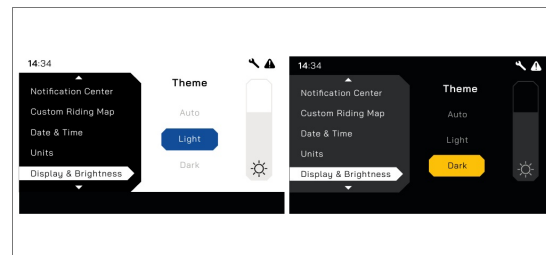
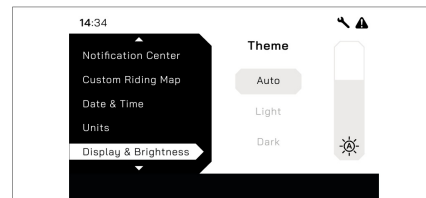
このメニュー画面では、表示テーマの選択と画面の明るさを設定できます。選択できるテーマは以下のとおりです：

- オート（「Auto」）
- ライト（「Light」）
- ダーク（「Dark」）

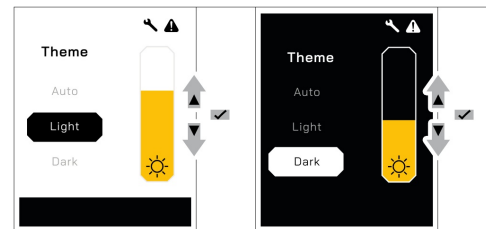
- ① オートテーマは、昼夜に応じてテーマを、周囲の明るさに応じて画面の輝度を自動的に調整します。

「SET」✓ボタンを押すと、ダッシュボードの明るさ設定の手順が始まります。

- ① 「Light」または「Dark」テーマを選ぶと、画面の明るさレベルを設定できます。



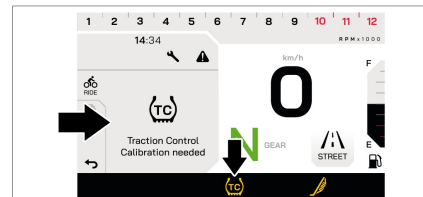
「UP」▲および「DOWN」▼ボタンで希望のテーマを選び、「SET」✓ボタンで確定します。「Light」または「Dark」テーマを選択した後は、同様に「UP」▲・「DOWN」▼ボタンで明るさレベルを設定し、「SET」✓ボタンで確定します。



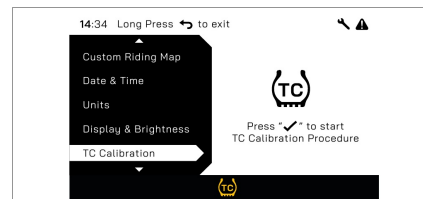
トラクションコントロール・キャリブレーション (TCキャリブレーション)

① この手順は、エンジンが始動している状態でのみ実行できます。

⚠️ トラクションコントロールのキャリブレーション要求が表示され、TC警告灯が点灯した場合は、できるだけ早くキャリブレーションを実施してください。

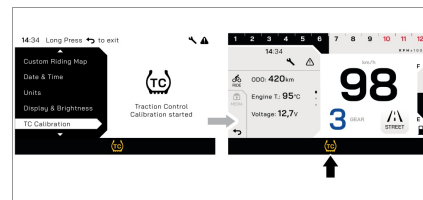


この設定画面では、トラクションコントロールシステム（TCS）の自動キャリブレーション手順を開始できます。「SET」✓ボタンを押すとキャリブレーションが開始し、確認ポップアップ（「Start Traction Control Calibration」）が表示され、TC警告灯が高速点滅します。



手順が開始するとメイン画面に戻ります。走行中に速度が50km/hに達すると、TC警告灯は点滅せず点灯し続けます。この速度を約2秒間維持すると警告灯が消灯し、キャリブレーションの完了を示します。

① キャリブレーション中は、TC警告灯が点滅し続けます。



⚠️ この間、TCシステムが正常に作動しない場合があるため、十分注意して走行してください。

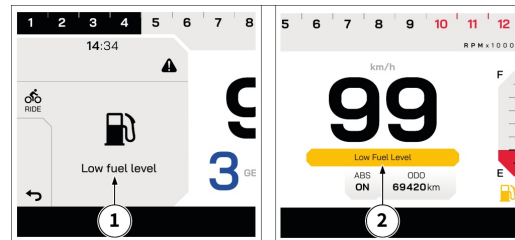
① キャリブレーションが完了すると、TC警告灯は消灯します。

警告・エラー表示について

ダッシュボードは、車両の異常動作を検知できるよう、警告およびエラーをリアルタイムで表示します。

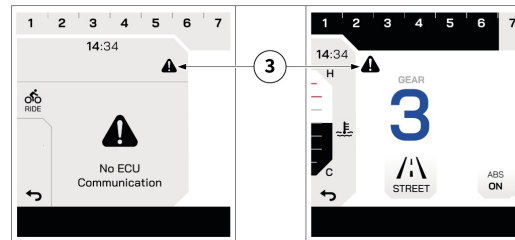
インスタントメッセージ表示

フルディスプレイでは情報ウィンドウ「1」に、「RACE」ディスプレイでは画面中央「2」に、該当するメッセージが表示されます。「SET」✓または「BACK」←ボタンを押すと、ポップアップメッセージを消すことができます。



警告アイコン

インスタントメッセージが表示された後、ダッシュボードにはエラーの存在を知らせる警告アイコン「3」が表示され続けます。



通知センターのメッセージ

- ① 通知センターには、ダッシュボードが報告した直近3件のメッセージのみが時系列順に記録されます。
- ① 原因が解消されていない過去のエラーは、メッセージセンターに表示され続けます。

これらのメッセージは通知センターで確認できます。通知センターへのアクセス方法は60ページを参照してください。

エラーメッセージ一覧

JP

メッセージ	原因	対処方法
System Check (「System Check」)	車両ECUのソフトウェアエラー	従来型のブレーキシステムとして注意して走行してください。ファンティック正規サービスセンターにご連絡ください。
No communication with ECU (「No ECU Communication」)	エンジンコントロールユニットのエラー	トラクションコントロールなしで注意して走行してください。ファンティック正規サービスセンターにご連絡ください。
No communication with ABS (「No ABS Communication」)	「ABS」コントロールユニットのエラー	従来型のブレーキシステムとして注意して走行してください。ファンティック正規サービスセンターにご連絡ください。
ABS Cornering not active (「Cornering ABS Inactive」)	「ABSコーナリング」オプションのエラー	ABSコーナリングなしで注意して走行してください。ファンティック正規サービスセンターにご連絡ください。
RUNOFF	RUNOFFスイッチが作動中	車両始動前にRUNOFFを解除してください。
Low fuel level (「Low fuel level」)	給油が必要です。	燃料を補給してください。
Over temperature (「Over temperature」)	エンジン温度が高すぎます。	走行を中止し、エンジンが冷えるのを待ってください。冷却水量を確認し、ファンティック正規サービスセンターにご連絡ください。
Low battery voltage (「Low battery voltage」)	バッテリー電圧が低すぎます。	注意して走行してください。ファンティック正規サービスセンターにご連絡ください。
High battery voltage (「High battery voltage」)	バッテリー電圧が高すぎます。	注意して走行してください。ファンティック正規サービスセンターにご連絡ください。
Traction Control Calibration Needed (「Traction Control Calibration Needed」)	トラクションコントロールシステムが未キャリブレーションです。	トラクションコントロールのキャリブレーションを実施してください。

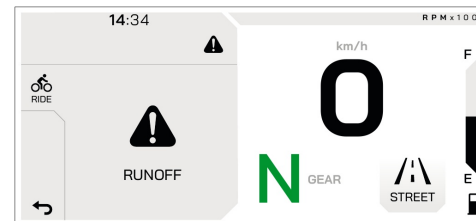
エンジンストップ/スタート

⚠ エンジンおよびライダーの安全のため、エンジンストップスイッチは車両が停止している状態でのみ操作してください。

車両が停止した状態でエンジンストップスイッチ「1」を操作すると、インフォメーションウィンドウに「RUNOFF」と表示されます。

① 車両が「RUNOFF」モードのとき、デジタルダッシュボードの設定を変更することができます。

車両が停止した状態でエンジンスタートスイッチ「2」を操作すると、インフォメーションウィンドウの「RUNOFF」表示が消えます。



通常メンテナンスについて

定期的なメンテナンスは重要です

大切な車両を守り、安全に走行し、期待されるパフォーマンスを発揮させ、また故障を防ぎ、大気汚染の低減につなげるためにも、車両を正しくメンテナンスすることが重要です。ここで示す点検項目を乗車前に必ず行うことはお客様の義務であり、車両に不具合や異常を発生させないためにも怠らないようにしてください。

- ⚠ **故障や異常が見つかった場合は、必ずお買い求めのファンティック正規販売店にご連絡ください。**
- ⚠ **正しく行われないメンテナンスや、乗車前に解消されていない不具合は、重大な事故につながる恐れがあります。本書に記載のメンテナンス手順に従い、また乗車前点検を必ず行うことで、車両の損傷やライダー・同乗者の重傷を防ぐことにつながります。**
- ① **十分な技術知識や工具をお持ちでない場合、または技術的なサポートや整備が必要な場合は、お買い求めのファンティック正規販売店にご連絡ください。**

定期的なメンテナンスにあたっての安全上の規定

- ① **車両の点検や作業に入る前に、必ず定期メンテナンスの指示をよく読んでください。**

メンテナンス作業を行う際は、以下のガイドラインを守ってください：

- エンジンを停止し、キーが抜かれていることを確認する。
 - 車両を安定した水平な場所に停め、サイドスタンドまたはメンテナンス用スタンドで支える。
 - 火傷を防ぐため、エンジン、サイレンサー、ブレーキなど高温になる部品が十分に冷めてから作業する。
- ⚠ **これらの手順を守らないと、作業者が重傷を負ったり、車両にダメージを与えたりする恐れがあります。信頼性と安全性に優れたファンティック純正部品の入手については、お買い求めのファンティック正規販売店にご相談ください。純正でない部品を使用すると、車両にダメージを与えたり、運転者や同乗者の安全を脅かしたりする恐れがあります。**

通常のメンテナンスについて

お客様に行っていただきたい点検

① ここに示す走行距離間隔はあくまでも目安です。過酷な使用および特殊な用途の場合は、使用前に必ず車両の目視点検と機能点検を行ってください。

部品	作業内容	走行前 毎回	500km ごと	1500km ごと	長期間 使用前	長期間 使用后
灯火類、方向指示器、 ストップランプ、ホーン	- 動作確認。 -	✓				
クラッチレバー	- 遊びの点検。 p.84	✓				
ブレーキシステム	- ブレーキフルードの液量点検。 p.78		✓			
	- ブレーキパッドの残量点検。 p.79			✓		
	- ブレーキシステムの点検。 p.80	✓				
エンジンオイル	- レベル点検。 p.71		✓			
クーラント	- レベル点検。 p.76		✓			
ドライブチェーン	- 摩耗状況の点検。 - 遊びと伸びの点検。 p.81		✓			
	- 注油及び洗浄。 p.82		✓			
車両全体	- 洗車。 p.93		✓		✓	
バッテリー	- 端子の取り外し、取り付け。 p.88				✓	✓
	- 端子の洗浄。 p.89					✓
タイヤ	- 空気圧の点検。 p.73		✓		✓	✓
	- ダメージ及びトレッド深さの点検。 p.73			✓		

通常のマインテナンスについて

エンジンオイル

- ① エンジンオイルの消費量や品質は、走行条件や時間の経過によって変化します。エンジンオイルおよびオイルフィルターの点検・交換は、お買い求めのファンティック正規販売店にご依頼ください。

- △ オイルの点検や補充の際は、エンジンやマフラーなど高温になる部品に十分注意してください。

グレードやブランドの異なるオイルを混合しないでください。潤滑性能の低下やクラッチの不具合の原因となります。

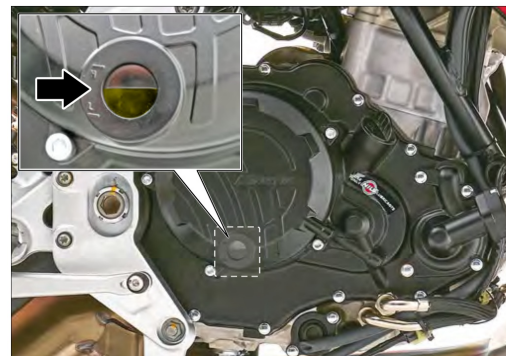
- ① 「推奨品テーブル」に記載の製品のみを使用してください。

エンジンオイルの点検と補充

- ① この点検を行う走行距離や期間の目安については、「お客様に行っていただきたい点検」の項を参照してください。

- エンジンを始動し、冷却ファンが作動するまでアイドリングさせる。
- エンジンを停止し、車両を安定した水平面に垂直に立てる。
- 2〜3分待つ。
- サイトグラス（点検窓）からオイルレベルを確認する。

- ① 正しいオイルレベルは「L」（下限）と「H」（上限）の間になければなりません。



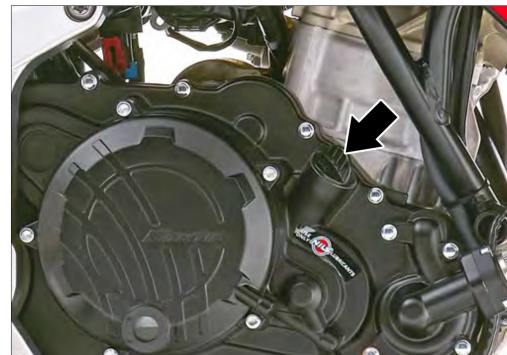
通常メンテナンスについて

- ⚠ エンジンにダメージを与えないよう、オイルレベルは「H」（上限）マークを超えないように、また「L」（下限）マークを下回らないようにしてください。

点検の結果、エンジンオイルレベルが「L」（下限）マークを下回っている場合は、キャップを外して推奨エンジンオイルを補充してください。「H」（上限）マークを超えている場合は、お買い求めのファンティック正規販売店にご連絡ください。

- ① オイル補充の際は、こぼさないよう注意してください。ファンネルなどの器具を使用する場合は、汚れがオイルに混入してエンジン内部を汚染しないよう、十分に清掃されたものを使用してください。

キャップをしっかりと締め直してください。



通常のマインテナンスについて

タイヤ

タイヤの種類や空気圧については、「テクニカルデータ」の章を参照してください。

- ① 点検の走行距離や期間の目安については、「お客様に行っていただきたい点検」の項を参照してください。

空気圧の点検

タイヤの温度が上昇していると正確な空気圧が測定できないため、常温（室温）で点検してください。目安として、駐車後最低3時間経過してから、または走行距離が最大2km（1マイル）以内の状態で点検してください。

- ① 空気圧の測定には、正しく調整された空気圧ゲージを使用してください。
- ① バルブには常に保護キャップが装着され、確実に閉まっていることを確認してください。空気圧の急激な低下を防ぐために重要です。
- ⚠ 空気圧が正しくないタイヤで走行すると、重傷または死亡に至る重大な事故につながる恐れがあります。

ダメージおよびトレッド深さの点検

タイヤに以下の異常がないか点検してください:

- 切り傷。
- スリット（裂け目）。
- 内部の繊維が露出するようなひび割れ。
- 釘その他の異物がサイドウォールやトレッドに刺さっていないか。
- サイドウォールに突起やふくらみが生じていないか。

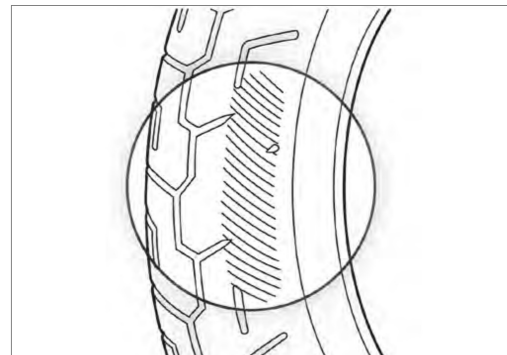
上記のいずれかが認められた場合は、直ちにタイヤを交換してください。

通常のマメンテナンスについて

タイヤの接地面に異常な摩耗の兆候がないか点検してください。

この異常が認められた場合は、直ちにタイヤを交換してください。

⚠ 損傷したタイヤや過度に摩耗したタイヤでの走行は、重傷または死亡に至る事故につながる恐れがあります。

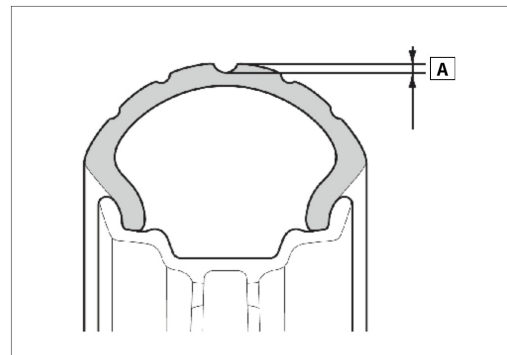


摩耗が最大となる箇所でトレッドの最小厚さ「A」を測定し、下記の最小厚さを下回らないこと、また使用地域の法規制にも適合していることを確認してください。

① 最小トレッド厚さ: 1 mm (0.03 in)。

これに該当しない場合は、直ちにタイヤを交換してください。

⚠ 規定の最小トレッド深さを下回るタイヤでの走行は、重傷または死亡に至る事故につながる恐れがあります。



通常のメンテナンスについて

- ① タイヤの交換、修理およびメンテナンスには適切な工具と経験が必要です。お買い求めのファンティック正規販売店、またはタイヤ専門業者にご依頼いただくことをお勧めします。

推奨タイヤ、またはサイズ、構造、速度記号および荷重指数が同等の製品を使用してください。誤ったタイヤを装着すると、車両の操縦性や安定性を損ない、重傷または死亡に至る事故につながる恐れがあります。必ず本書に記載のサイズおよび推奨タイヤを使用してください。

新品のタイヤは滑りやすい膜で覆われていることがあります。交換後最初の数キロメートルは慎重に走行してください。

不適切な液体でタイヤを潤滑しないでください。古いタイヤは、摩耗していなくても表面が硬化し、グリップ性能を保証できなくなるため、交換してください。

装着されているタイヤはチューブレスタイプで、アルミホイールに装着されています。チューブレスタイヤは、インナーチューブを使用せずにこのタイプのリムに装着する必要があります。

通常メンテナンスについて

クーラント（冷却液）

① この点検の走行距離や期間の目安については、「お客様に行っていただきたい点検」の項を参照してください。

⚠ クーラントのレベルが下限を下回っている場合は、車両を使用しないでください。

クーラントレベルの点検

① クーラントレベルの点検は、エンジンが冷えて停止した状態で、車両を垂直に保持して行ってください。

クーラントが「MAX」（上限）と「MIN」（下限）の間にあることを点検してください。

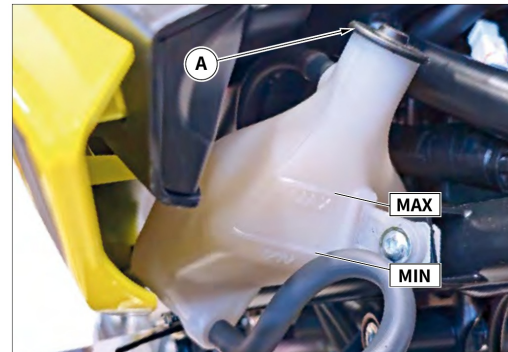
クーラントの補充

クーラントレベルが「MIN」（下限）以下の場合は、以下の手順で補充してください：

- クーラントリザーバーのキャップ「A」を外す。
- 「MIN」（下限）と「MAX」（上限）の間になるようクーラントを補充する。

① 推奨製品: エチレングリコールベースの有機系不凍液。

① 不凍液がない場合は蒸留水（なければ水道水）で代用し、できるだけ早くお買い求めのファンティック正規販売店でクーラントの点検・交換を受けてください。



通常のマインテナンスについて

- キャップを閉める。
- エンジンを開始して1分以上運転させたのち、レベルを再点検する。

① クーラントの交換は、お買い求めのファンティック正規販売店にご依頼ください。

△ クーラントレベルが継続的に減少する、またはタンクが空になる場合は、冷却系統に大きな漏れが生じている可能性があります。直ちにお買い求めのファンティック正規販売店にご連絡ください。

通常のメンテナンスについて

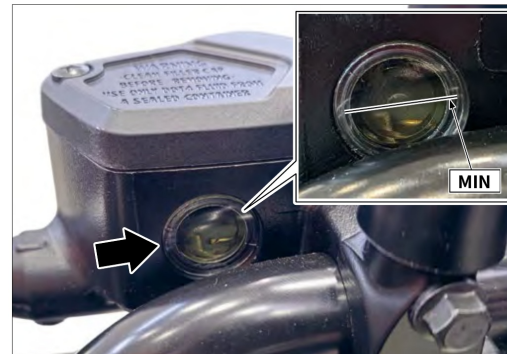
ブレーキシステム

- ① この点検の走行距離や期間の目安については、「お客様に行っていただきたい点検」の項を参照してください。

フロントブレーキフルードの液量点検

フロントブレーキフルードの液量点検は、車両を垂直に保持し、ハンドルバーを切っ
て、ブレーキフルードリザーバー内の液面がキャップと平行になるようにして行いま
す。点検窓の液面が半分以下（「MIN」以上）であることを確認してください。

- ① 液面が下限に達していない場合は、お買い求めのファンティック正規販売店にご
連絡ください。



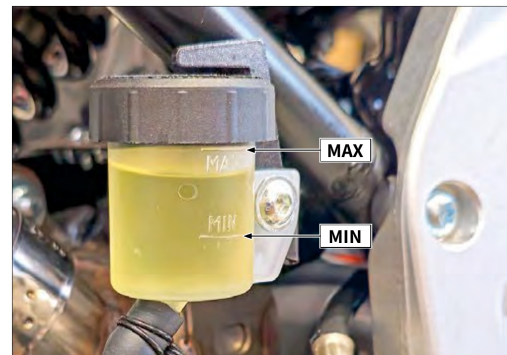
リアブレーキフルードの液量点検

リアブレーキフルードの液量点検は、車両を垂直に保持し、ブレーキフルードリザー
バータンク内の液面がキャップと平行になるようにして、液量が「MIN」（下限）と
「MAX」（上限）の間にあることを点検します。

- ① 液面が「MIN」（下限）に達していない場合は、お買い求めのファンティック正
規販売店にご連絡ください。

ブレーキフルードの補充

- ① ブレーキフルードの補充は、お買い求めのファンティック正規販売店にご依頼く
ださい。



通常メンテナンスについて

パッドの摩耗点検

- ① 車両の制動力の低下を感じた場合は、ブレーキパッドの点検を行ってください。

ディスクブレーキパッドの摩耗は、使用状況、運転の仕方、路面状況によって異なります。

- ⚠ 摩擦材の限界を超えて摩耗すると、パッドの金属部分がディスクと接触し、金属音やキャリパーからの火花の発生につながります。また制動効率、安全性、ディスクの状態にも悪影響を及ぼします。

フロントブレーキパッド

半キャリパー間の開口部からパッドの摩耗を以下の方法で点検してください：

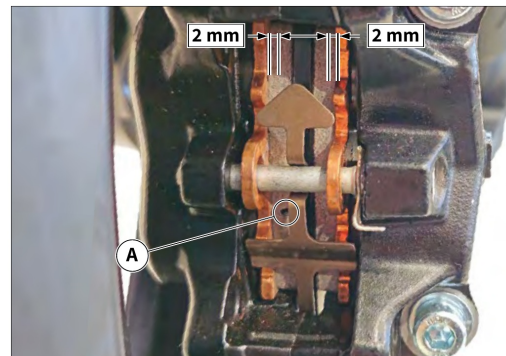
点検溝がある場合

- 摩耗限界溝「A」が常に確認できることを点検する。

点検溝がない場合

- 摩擦材の厚さが2mm (0.08in) 以上あることを点検する。

いずれの場合も、パッドは2枚とも交換してください。



通常のメンテナンスについて

リアブレーキパッド

半キャリア間の開口部からパッドの摩耗を以下の方法で点検してください:

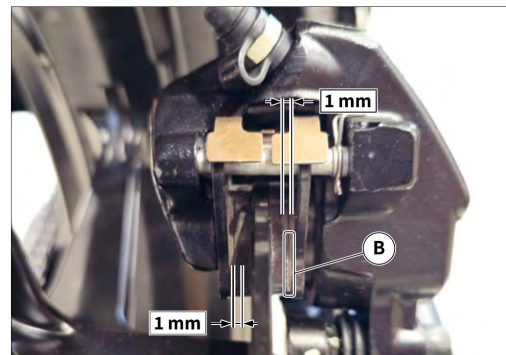
点検切り欠きがある場合

- 摩耗限界切り欠き「B」が常に確認できることを点検する。

点検切り欠きがない場合

- 摩擦材の厚さが1mm (0.04in) 以上あることを点検する。

いずれの場合も、パッドは2枚とも交換してください。



ブレーキシステムの点検

制動時（静止状態）の点検:

- ブレーキレバー、ペダルが静止した状態で制動が働いていないことを点検する。

遊びの点検:

- 抵抗が生じるまでのレバー、ペダルの遊びが過大でないことを点検する。

タッチの点検:

- 操作時にブレーキレバーやペダルにぐらつきがないことを点検する。

① これらの点検で異常が認められた場合は、お買い求めのファンティック正規販売店にご連絡ください。

通常メンテナンスについて

ドライブチェーン

- ① この点検の走行距離や期間の目安については、「お客様に行っていただきたい点検」の項を参照してください。

チェーン、スプロケット、チェーンリングの摩耗点検

- ① これらの点検は、お買い求めのファンティック正規販売店での実施をお勧めします。

以下の点検を行ってください：

ホイールにゆるみがないこと、アクスル「1」やナット、アジャスターが確実に締め付けられていることを確認する。

チェーン「2」の摩耗状態を点検し、ローラーの摩耗がないこと、またチェーンリンクが以下の状態でないことを確認する：

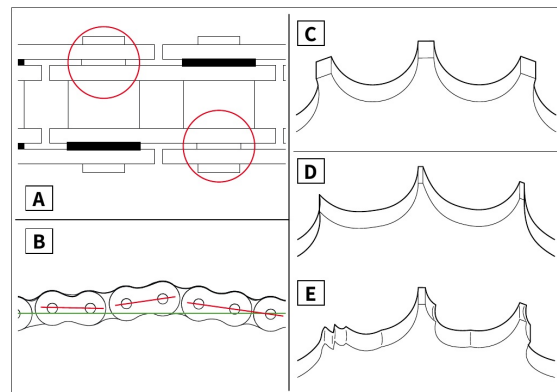
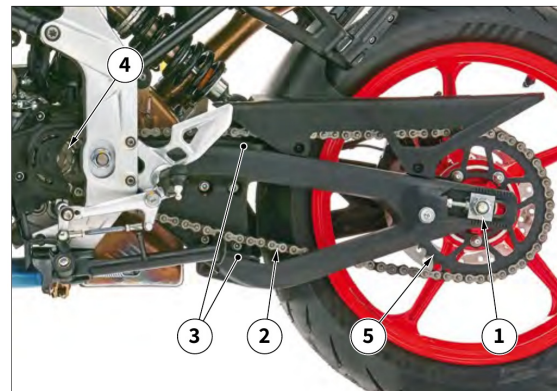
- 乾燥している。
- 錆びている。
- つぶれている。
- 固着している（例「B」参照）。

シールリングの脱落がないかも点検する（例「A」参照）。

チェーンスライドパッド「3」の摩耗状態を点検する。

スプロケット歯「4」およびチェーンリング「5」の摩耗状態を点検する：

- 歯が良好な状態（例「C」参照）。
- 歯が過度に摩耗（例「D」参照）。
- 歯が損傷（例「E」参照）。



通常メンテナンスについて

- ⚠ 上記の部品のいずれか、または複数が損傷している、あるいは著しく摩耗している場合は、お買い求めのファンティック正規販売店にご連絡のうえ、チェーンアッセンブリー一式（スプロケット、チェーン、チェーンリング）の交換をご依頼ください。
- ① 不適切なメンテナンスは、チェーンの早期摩耗やスプロケット、チェーンリングの損傷につながる恐れがあります。

洗浄と注油

- ① 特に泥や砂の多いオフロード走行の後は、チェーンを常に清潔に保ち、十分に注油しておく必要があります。

- ⚠ 水流、蒸気流、高圧洗浄機、ワイヤーブラシ、可燃性の高い溶剤を用いてチェーンを洗浄しないでください。

チェーンが汚れている場合は、乾いた布と中性洗剤を使用して洗浄してください。必要に応じて柔らかいブラシを使用してください。洗浄後はよく乾かし、推奨潤滑剤で注油してください。

- ① 適切な製品が手元になかったり、洗浄・注油の作業に自信が持てない場合は、お買い求めのファンティック正規販売店にご依頼ください。
- ① 推奨されるチェーン洗浄剤・潤滑剤については、「推奨品テーブル」を参照してください。

通常メンテナンスについて

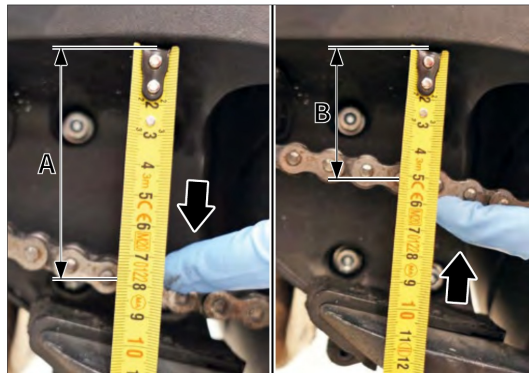
チェーンの遊びの点検

⚠ チェーンの遊びが過大になると、チェーンがスプロケットから外れ、事故や車両への重大な損傷につながる恐れがあります。

① チェーンの交換や遊びの調整は、必ずお買い求めのファンティック正規販売店にご依頼ください。

① 一部の箇所で遊びが過大な場合は、リンクのつぶれや固着が疑われます。この場合は、お買い求めのファンティック正規販売店にご連絡ください。

① 固着を防ぐためにも、チェーンの正しく定期的な注油をお勧めします。



チェーンの遊びの点検は、以下の手順で行ってください:

- エンジンを停止し、ギアをニュートラルに入れる。
- 車両をバドックスタンドに立てる。
- リアホイールを回転させながら、指（下から上へ）でチェーンを押し、最も張った箇所を見つける。
- 次にバドックスタンドを外し、車両をサイドスタンドで支え、荷重がかからない状態にする。
- 先に確認した最大張力の箇所を指で押さえ、まずチェーン下側を下方に、次に上方に押して、スイングアームの縁からの距離を測定する。
- 最大値「A」と最小値「B」の差である上下動が、30mm (1.18in) ～35mm (1.38in) の範囲内であることを確認する。
- リアホイールを他の位置に回転させても同様にチェーンの上下動を点検し、規定の範囲を超えないことを確認する。

通常メンテナンスについて

クラッチレバーの遊び調整

- ① この調整に必要な技術知識をお持ちでない場合は、車両の損傷や走行安全性への影響を避けるためにも、お買い求めのファンティック正規販売店にご連絡ください。
- ① クラッチレバーの遊びは、不具合やエンジンへの恒久的な損傷を避けるため、ファンティック・モーター社の指定値に合わせる必要があります。
- ⚠ クラッチレバーの遊びが不足すると、エンジンに恒久的な損傷を与える恐れがあります。

クラッチの調整 - レバー側

エンジンが異常停止する、ギアが入ってクラッチレバーを握った状態で車両が前進しようとする、またはクラッチが「滑って」エンジン回転数に対して加速が遅れる場合に、クラッチレバーの遊び調整を行ってください。

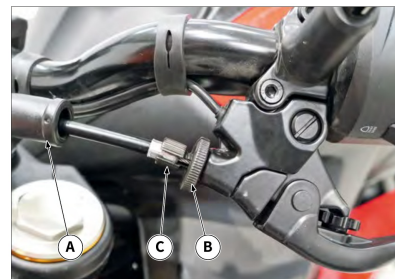
- ① この調整は、必ずエンジンが冷えていることを確認してから行ってください。

調整方法:

- 保護カバー「A」を外す。
- リングナット「B」を緩める。
- 調整中はハンドルバーをまっすぐに保つ。
- アジャスター「C」を回してクラッチレバーの遊び「D」を調整する。

- ① クラッチレバーの遊び（「D」）: 10 mm (0.39 in)。

- アジャスター「C」を動かないよう保持しながら、リングナット「B」を締める。
- 保護カバー「A」を元に戻す。



通常メンテナンスについて

クラッチの調整 - エンジン側

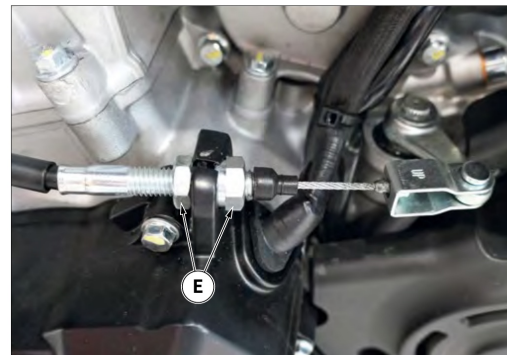
レバー側の調整だけではファンティック・モーター社の指定する遊びが得られない場合は、エンジン側での調整を行ってください。

① この調整は、必ずエンジンが冷えていることを確認してから行ってください。

調整方法:

- エンジンクランクケースにあるクラッチコントロールレバーのアジャスター「E」を操作する。
- クラッチレバーの遊び「D」を点検する。

① クラッチレバーの遊び（「D」）: 10 mm (0.39 in)。



① クラッチケーブルの全長にわたって状態を点検してください。被覆にひび割れ、切り傷、つぶれ、摩耗があってはけません。いずれかの異常が見つかった場合は、お買い求めのファンティック正規販売店でクラッチケーブルを交換してください。

⚠ 調整を行っても必要な遊びが得られない場合、車両のエンジンやクラッチに重大な損傷を与える恐れがあります。この場合は、お買い求めのファンティック正規販売店にご連絡ください。

通常のマインテナンスについて

トラブルシューティング

以下の表は、車両が正しく作動しない原因を確認するための手順、またはデジタルダッシュボードに表示される異常についての情報を示しています。

① この項の情報は、起こりうるすべての不具合やエラーを網羅するものではありません。

⚠ 検出された不具合や異常が下記のいずれにも該当しない場合、または示された手順で解決しない場合は、できるだけ早くお買い求めのファンティック正規販売店にご連絡ください。

⚠ ヒューズやリレーの交換が必要な場合でも、根本的な原因の特定が必要な場合がありますので、必ずお買い求めのファンティック正規販売店にご連絡ください。

症状	考えられる原因	対処方法
エンジンが始動しない。	「RUN/OFF」スイッチが「OFF」の位置にある。	スイッチの位置が正しいか点検する。
	サイドスタンドが格納されていない。	サイドスタンドの位置を点検する。
	フロントおよび/またはリアブレーキが正しく操作されていない。	安全な始動手順を再確認する。
エンジンが始動せず、始動しようとする動作がある。	バッテリーが一部または完全に放電している、または交換が必要。	バッテリーを再充電・交換し、お買い求めのファンティック正規販売店に連絡する。
エンジンが始動せず、始動しようとする動作も見られない。	サイドスタンドは格納されているが、関連センサーが正常に作動していない可能性がある。	車両を使用せず、安全な場所に駐車し、お買い求めのファンティック正規販売店に連絡する。
	スターターモーターが損傷または作動不良。	車両を使用せず、安全な場所に駐車し、お買い求めのファンティック正規販売店に連絡する。
エンジンの回転がスムーズでない。 マフラーから目視できる煙が出ている。 エンジンから刺激臭がする。	エンジンオイルの不足または欠如。	エンジンオイルレベルを点検する。車両を使用せず、安全な場所に駐車し、お買い求めのファンティック正規販売店に連絡する。
エンジン警告灯が点灯。	エンジンまたは排出ガス制御システムの不具合。	車両を使用せず、安全な場所に駐車し、お買い求めのファンティック正規販売店に連絡する。

通常のメンテナンスについて

JP

症状	考えられる原因	対処方法
制動距離が伸びる。 制動パターンはスムーズ。	パッドおよびディスクの摩耗。	ブレーキパッド・ディスクの摩耗状態を点検する。車両を使用せず、安全な場所に駐車し、お買い求めのファンティック正規販売店に連絡する。
制動距離が著しく伸びる。 ブレーキ操作に一定の抵抗を感じられない。	ブレーキフルードの不足、欠如、または交換が必要。	ブレーキフルードレベルを点検する。車両を使用せず、お買い求めのファンティック正規販売店に連絡する。
制動距離が伸びる。 制動パターンがスムーズでない。 ABSエラー表示灯は点灯していない。	ABSコントロールユニットの不具合。	車両を使用せず、安全な場所に駐車し、お買い求めのファンティック正規販売店に連絡する。
ABSエラー表示灯が点灯。	ヒューズ切れ。	点検し、ヒューズを交換する。
	ABSコントロールユニットの不具合。	車両を使用せず、安全な場所に駐車し、お買い求めのファンティック正規販売店に連絡する。
エンジンのオーバーヒート。 水温警告灯が点灯。	クーラントの不足または欠如。	クーラントレベルを点検する。
冷却ファンが作動しない。	ヒューズ切れ。	点検し、ヒューズを交換する。
ヘッドライトが点灯しない。	ヒューズ切れ。	点検し、ヒューズを交換する。
方向指示器が作動しない。	ヒューズ切れ。	点検し、ヒューズを交換する。
ホーンが鳴らない。	ヒューズ切れ。	点検し、ヒューズを交換する。
ポジションランプが点灯しない。	ヒューズ切れ。	点検し、ヒューズを交換する。
ブレーキランプが点灯しない。	ヒューズ切れ。	点検し、ヒューズを交換する。

通常メンテナンスについて

バッテリー

- ① この点検の走行距離や期間の目安については、「お客様に行っていただきたい点検」の項を参照してください。

搭載されているバッテリーはAGM（アブソーバント・グラス・マツト）タイプで、メンテナンスフリーです。

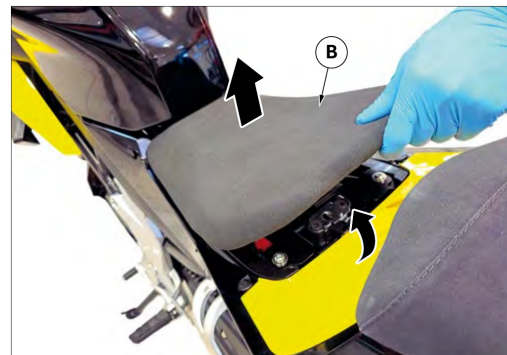
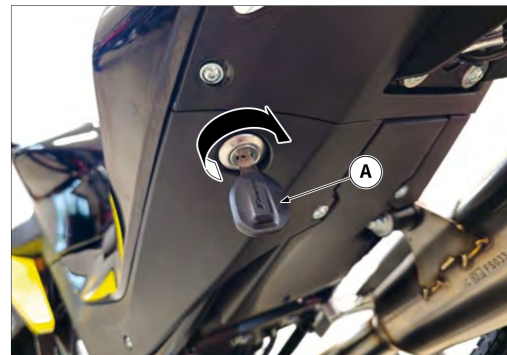
バッテリーの取り外し

- ① この作業に自信が持てない場合は、お買い求めのファンティック正規販売店にご依頼ください。
- ⚠ バッテリーから電解液（希硫酸）が漏れている場合は、お買い求めのファンティック正規販売店にご連絡ください。
- ⚡ バッテリーに火花や裸火を近づけないでください。

車両をサイドスタンドで立てる。

イグニッションスイッチを（OFF）にし、キーを抜く。

車両中央のサイドパネルにあるロック「A」にキーを差し込み、時計回りに回す。
シート「B」を持ち上げて取り外す。



通常のメンテナンスについて

スクリュー「D」を2本外して、バッテリーカバー「C」を取り外す。

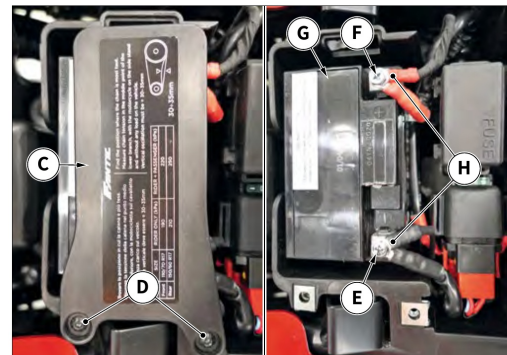
スクリューを外して、ネガティブ（黒）端子「E」を取り外す。

スクリューを外して、ポジティブ（赤）端子「F」を取り外す。

バッテリー「G」を車両から取り出す。

バッテリー端子の洗浄

- ① この作業に自信が持てない場合は、お買い求めのファンティック正規販売店にご依頼ください。



「H」端子に腐食が生じ、白い付着物が見られる場合は、ぬるま湯で洗浄してください。腐食がひどい場合は、保護メガネを着用のうえ、金属ヘラやサンドペーパーで端子を清掃・研磨してください。これらの作業は、必ずバッテリーを車両から取り外した状態で行ってください。

バッテリーの取り付け

取り外しと逆の手順で各部品を取り付けてください。必ずポジティブ端子を先に、次にネガティブ端子を接続してください。シートを取り付ける前に、シート下部にキーを置き忘れていないことを確認してください。また、走行前にシートが確実に固定されていることを確認してください。

- ⚠ 保護材は取り外さないでください。極性を守り、端子をワセリングリースで保護したうえでバッテリーを取り付けてください。

- ♻ 新しいバッテリーを取り付ける際は、使用済みバッテリーを地域の規則に従って認可された回収拠点に持ち込み、リサイクルと環境保護に配慮してください。

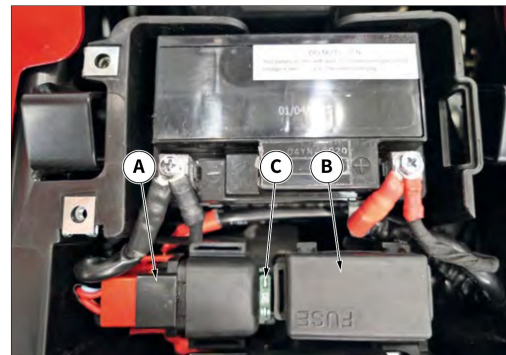
通常のメンテナンスについて

ヒューズ及びリレー

ヒューズは車両の電気回路を保護しています。車両の電装品が作動しなくなった場合は、ヒューズを点検し、切れていれば交換してください。

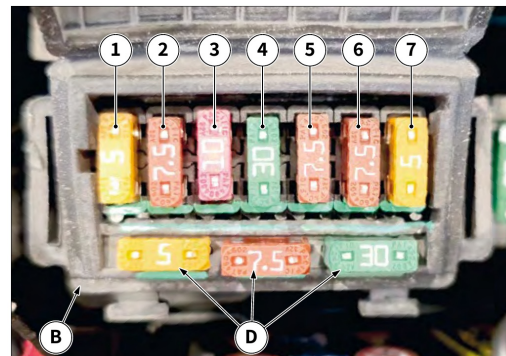
⚠ ヒューズが頻繁に切れる場合は、電気系統に問題がある可能性があります。お買い求めのファンテック正規販売店で点検を受けることをお勧めします。

⚠ 故障したヒューズを修理して使用したり、指定と異なる容量のヒューズを使用したりしないでください。短絡が発生し、火災や電装系統への損傷につながる恐れがあります。



ヒューズの配置

- A. メインヒューズ (30 A)
- B. ヒューズボックス
 - 1. ECU電源供給ヒューズ (5 A)
 - 2. 冷却ファンヒューズ (7.5 A)
 - 3. 電子燃料噴射・排出ガス制御システムヒューズ (10 A)
 - 4. ABS電源供給ヒューズ (30 A)
 - 5. キー系統ヒューズ: ECU、ABS、ダッシュボード、USB、スタータリレー (7.5 A)
 - 6. 灯火類電源供給ヒューズ (7.5 A)
 - 7. ダッシュボード電源供給ヒューズ (5 A)
- C. メインヒューズ用スペア (30 A)
- D. 予備ヒューズ (5 A、7.5 A、30 A)



通常メンテナンスについて

ヒューズの取り外し

- ① この作業に自信が持てない場合は、お買い求めのファンティック正規販売店にご依頼ください。

イグニッションスイッチを（OFF）にし、キーを抜く。

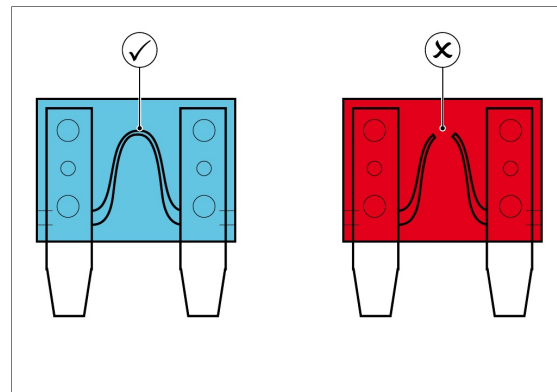
シートを取り外す（「バッテリー」の項を参照）。

車両からヒューズボックスカバーを取り外す。

ヒューズを1本ずつ抜き取り、フィラメントが切れていないか点検する。

損傷している場合は、同じアンペア数のヒューズに交換する。

ヒューズボックスカバーとシートを取り付ける。



通常メンテナンスについて

車両の保管について

車両を数か月にわたって使用しない場合は、以下の準備をしておくことをお勧めします：

- 燃料タンクを完全に空にする。
- バッテリーを取り外し、適切な充電器で12.4Vを下回らないように充電しておく。

① バッテリーは乾燥した場所で、5〜35°C (41〜95°F) の温度範囲で保管してください。また、お子様の手の届かない場所に保管してください。

- 適切なスタンドを使用してタイヤを地面から浮かせた状態にし、定期的にタイヤの空気圧を点検する。
- チェーンに注油する。
- マフラー出口をしっかりと結んだ袋で覆い、湿気の浸入を防ぐ。
- 車両全体を覆うのに十分な大きさの通気性素材のシートで車両を覆う。
- 車両は、温度変化が少なく、湿気がなく、直射日光の当たらない、暖房のない場所に保管する。

保管期間終了後は：

- カバーを外し、車両を洗車する。
- バッテリーの状態を点検する。
- 始業前点検を実施する。

① 交通量の少ない場所で、中速度で数キロメートル（マイル）の試走を行ってください。

通常メンテナンスについて

洗車について

各部を良好な状態に保つため、車両は定期的に洗車することをお勧めします。

以下のような条件で使用する場合は、より頻繁な洗車をお勧めします：

- 湿度や塩分が通常より高い地域。
- 融雪剤や塩化物が使用される道路や地域。
- 産業由来の粉塵やタール汚れがある道路や地域。
- スポーツ走行やオフロード走行。
- 車体に虫の死骸や鳥のフンなどが付着している場合。

植物や樹木の下に車両を駐車・放置しないことをお勧めします。植物や樹木から出る樹液、樹脂、果実、落ち葉には、車両の部品や外装にダメージを与える成分が含まれていることがあります。

- ① ファンティック・モーター社は、車両の洗浄には高品質な製品の使用をお勧めします。不適切な製品を使用すると、車両の部品にダメージを与える恐れがあります。洗浄には、アルコールやガソリンを含む溶剤や洗浄剤を使用しないでください。ファンティック・モーター社は、環境に配慮した中性の液体せっけんの使用をお勧めします。
- ⚠ 高圧洗浄機（またはスチームクリーナー）の使用は、シール類、オイルシール、ブレーキシステム、電装系統、ダッシュボード、シートを損傷する恐れがあります。ファンティック・モーター社は、車両の洗浄にスチームクリーナーや高圧洗浄機を使用しないことをお勧めします。
- ① 洗車前には必ずイグニッションキーをオフにし、水の浸入を防ぐため、ライダーおよび同乗者用シートを適切なカバーで保護してください。
- ⚠ 洗車中は、電子スロットルコントロール（Ride By Wire）に高圧の水を直接かけないでください。水が電子部品に浸入し、不具合の原因となる恐れがあります。保護フィルムや防水カバーで覆うか、柔らかい湿らせた布で手作業により、刺激の強い洗剤を避けて清掃することをお勧めします。

通常のマインテナンスについて

特に夏場、車体が温かい状態で直射日光の下で洗車しないでください。洗剤がすぎ落とされる前に乾燥すると、塗装にダメージを与える恐れがあります。

樹脂部品の洗浄には、40°C (104°F) を超える温度の液体を使用しないでください。

以下の部位には、空気、蒸気、高圧の水を直接当てないでください:

- ライダーシート。
- 同乗者用シート。
- ホイルハブ。
- ハンドルバースイッチ類。
- ベアリング。
- ブレーキオイルマスターシリンダーおよびタンク。
- 工具類および表示灯。
- 排気系統の排出口。
- ステアリングロック。
- 燃料タンクキャップなど。
- ヘッドライトおよびテールランプ。
- 電装部品。
- デカール（ステッカー）。

車両から40cm (15in) 以上離れた状態で、ぬるま湯の低圧ジェットを使用し、特に汚れのひどい部分を重点的によくすすいでください。

柔らかいスポンジで車両全体をこすり洗いでください。低圧のジェットで車両全体をよくすすいでください。セーム革のクロスで水分を拭き取ってください。

洗車後は制動効率が低下することがあるため、ディスクをよく拭いて乾かし、パッドが乾くの待ってから走行してください。

走行を再開する際は慎重に行い、ブレーキを繰り返し操作してください。

入念かつ十分な洗車が完了して初めて、シリコンワックスによる磨き上げの工程に進むことができます。

 塗装部分を傷めるおそれがあるため、研磨剤入りのペーストを使用しないでください。

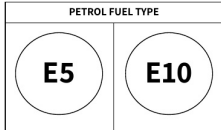
 作動に支障をきたす恐れがあるため、ブレーキシステムの各部に保護ワックスを使用しないでください。

 シートにワックスを使用しないでください。表皮を傷めるほか、滑りやすくなることでライダーおよび同乗者の安定性が低下し、事故や負傷のリスクが高まる恐れがあります。

通常のメンテナンスについて

推奨商品について

- ① 規定の性能を満たす、またはそれ以上の潤滑剤・液体製品を使用してください。同じ指定は補充の際にも適用されます。

製品	特性	備考
4サイクルギアシフトエンジンオイル	SAE 10W40 MOTUL 5100 4T 10W40を推奨	鉱物油は使用しないこと。
ベアリング、ジョイント、連結部、リンク用グリース	リチウムグリース	
クーラント	エチレングリコールベースの有機系不凍液（赤色着色のものを推奨）	水で希釈しないこと。
フォークオイル	フォークオイル 7.5W MOTUL FORK OIL FACTORY LINE LIGHT-MEDIUM 7.5Wを推奨	
ドライブチェーン潤滑剤	O-リング対応チェーン用スプレーグリース	
ブレーキオイル	DOT4 ブレーキフルード MOTUL BRAKE FLUID DOT4を推奨	
電気接点用クリーナー	コンタクトクリーナー	
燃料	エタノール含有率最大10%の無鉛プレミアムガソリン（95または98オクタン） 	
ロック剤（中強度）	中強度ねじロック剤	
ロック剤（高強度）	高強度ねじロック剤	
ボルトの固着防止用潤滑剤	防錆保護潤滑剤	
ねじ締め付けトルク用アンチフリクション潤滑剤	汎用エンジンオイル	
ゴムオイルシールおよびOリング用潤滑剤	リチウムソーブグリース	

通常メンテナンスについて

JP

製品	特性	備考
バッテリー端子	白色ワセリングリース	
車両の洗浄	常温の低圧水 環境に配慮した中性液体せっけん	刺激の強い洗剤は避けること。
ブレーキシステムの外部洗浄 (ブレーキプレート・シート)	ディスクブレーキ用スプレークリーナー	ブレーキパッドや樹脂部品の洗浄には使用しないこと。

メンテナンス・プラン

メンテナンス・スケジュール

- ① メンテナンス・スケジュールには、お使いのファンティック製車両の安全性、信頼性、および適切な排出ガス管理を確保しながら、最高の性能を維持するために必要なすべての作業が示されています。
- △ 定期的なメンテナンス作業（サービス）は、ファンティック・モーター社が定める基準および仕様に従って実施される必要があります。
- △ お買い求めのファンティック正規販売店にご依頼いただくことで、適切な訓練を受けた技術者が、必要な設備の整った作業所で対応いたします。
- △ 本スケジュールに記載のすべてのメンテナンス作業を遵守し、実施することで、車両が常に正しく最適な状態で使用できることが確認できます。
- △ ファンティック・モーター社は、お客様ご自身によるメンテナンス作業に起因する車両、財産、および人身への損害について、民事・刑事上の一切の責任を負いません。
- △ 雨天時、粉塵の多い環境、悪路、または高速走行が多い場合は、より頻繁にメンテナンス作業を実施してください。
- △ 過酷な環境（粉塵や砂の多い地形など）での集中的かつ長期間の使用の場合は、車両の点検を強化し、必要に応じて早めにサービスを実施する必要があります。
- ① 走行距離が1000km（600マイル）に達していない場合でも、車両の使用開始から1年以内には必ず初回点検・整備を受けてください。
- △ 保証を適切に適用するためにも、期限内のサービス実施が必要です。

メンテナンス・プラン

JP

定期メンテナンス・プラン

- ① 以下の定期メンテナンス・プランには、ファンティック正規販売店の整備工場で計画的に実施されるすべてのメンテナンス作業が示されています。
- ① 本車両の定期サービスは、7500km（4600マイル）ごとを基本間隔として実施します（ならし運転終了時に行う最初の1000km（600マイル）でのサービスのみ例外です）。

部位	作業内容	頻度 (x 1000 km / 600 mi)					指定期間	指定距離
		1	7.5	15	22.5	30		
燃料系統	- 燃料ホースにひび割れや損傷がないか点検する。		✓		✓		毎年	
マップ確認	- エンジンコントロールユニットが最新版に更新されているか点検する。	✓	✓	✓	✓	✓		
エアフィルター	- 圧縮空気で清掃する。		✓		✓			
	- 交換する。			✓		✓		
スパークプラグ	- 状態を点検する。 - 清掃し、電極間隔を調整する。	✓	✓		✓			
	- 交換する。			✓		✓		
バルブ	- バルブクリアランスを点検する。 - 必要に応じて調整する。		✓	✓	✓	✓		
エンジンオイル	- オイルレベルと油漏れの有無を点検する。	-						500km毎 (300mi)
	- 交換する。	✓	✓	✓	✓	✓	毎年	
エンジンオイル・フィルター	- 交換する。	✓	✓	✓	✓	✓	毎年	
冷却システム	- クーラントレベルと油漏れの有無を点検する。	✓	✓	✓	✓	✓	毎年	
	- クーラントを交換する。	-					3年毎	
クラッチ	- 動作を点検する。 - 必要に応じて調整する。	✓	✓	✓	✓	✓		

メンテナンス・プラン

JP

部位	作業内容	頻度 (x 1000 km / 600 mi)					指定期間	指定距離
		1	7.5	15	22.5	30		
ドライブチェーン	- 注油及び洗浄する。 - リアスプロケットの緩衝ゴムの遊びを点検する。 - 必要に応じて調整する。	-						500km毎 (300mi)
	- 必要に応じて交換する。	①					-	-
バッテリー	- 充電状態を点検する。		✓	✓	✓	✓	毎年	
ブレーキシステム	- ブレーキの作動を点検する。	✓	✓	✓	✓	✓	毎年	
ブレーキフルード	- 液量を点検する。	✓	✓	✓	✓	✓	毎年	
	- 交換する。	-					2年毎	
ブレーキパッド	- 摩耗を点検する。 - 必要に応じて交換する。	✓	✓	✓	✓	✓		
ブレーキディスク	- 摩耗を点検する。 - 必要に応じて交換する。	✓	✓	✓	✓	✓		
ブレーキ配管	- ひび割れや損傷がないか点検する。 - 取り付けと締め付けが正しいか点検する。	✓	✓	✓	✓	✓	毎年	
ブレーキペダル、シフトペダル、クラッチレバーのピボットピン	- リチウムソーブベースグリースで注油する。	✓	✓	✓	✓	✓		
スロットルコントロール	- 動作を点検する。 - スロットルコントロールコネクタの接続を点検する。	✓	✓	✓	✓	✓		
クラッチコントロール	- 動作を点検する。 - クラッチレバーの遊びを点検し、必要に応じて調整する。 - 必要に応じてケーブルとクラッチレバー本体を注油する。	✓	✓	✓	✓	✓		
ホイール及びタイヤ	- 状態と空気圧を点検する。		✓	✓	✓	✓	毎年	
ホイールベアリング	- ゆるみや損傷がないか点検する。		✓	✓	✓	✓		

メンテナンス・プラン

JP

部位	作業内容	頻度 (x 1000 km / 600 mi)					指定期間	指定距離
		1	7.5	15	22.5	30		
ハンドルバー・ベアリング	- ベアリングの遊びとハンドルの硬さを点検する。	✓	✓	✓	✓	✓		
	- リチウムソーベースグリースで注油する。	-						22500km毎 (13500mi)
フォーク	- 動作と油漏れの有無を点検する。	✓	✓	✓	✓	✓	毎年	
	- オイルを交換する。			✓		✓		
	- オイルシールを交換する。			✓		✓		
リアショックアブソーバー	- 動作とショックアブソーバーの油漏れの有無を点検する。	✓	✓	✓	✓	✓	毎年	
リアサスペンションの可動部	- 非水溶性の防錆潤滑剤でサスペンションの可動部を注油する。	✓	✓	✓	✓	✓		
パッセンジャーフットボード	- 状態を点検し、必要に応じて注油する。	✓	✓	✓	✓	✓	毎年	
サイドスタンド	- 動作を点検する。 - リチウムソーベースグリースで注油する。	✓	✓	✓	✓	✓	毎年	
サイドスタンドスイッチ	- 動作を点検する。	✓	✓	✓	✓	✓		
締結部品及び可動部品 ②	- 正しく動くか点検し、必要に応じてリチウムソーベースグリースで注油する。 - 遊びがないか点検し、必要に応じて調整する（締め付けの確認）。 - 摩耗状態を点検し、必要に応じて交換する。	✓	✓	✓	✓	✓		

メンテナンス・プラン

❶ **ドライブチェーン:** 以下の場合のみ交換してください:

- チェーンが摩耗または変形している。
- 張り調整が困難、または不可能である。
- 伸びが許容限度を超えている（許容される最大長の2%を超える伸び）。
- リムとスプロケットのアライメントが取れていない。

❷ **締結部品及び可動部品:** 以下の部品を点検してください:

- ホイール固定ピンおよびナット。
- スイングアームピボットピン。
- ステアリングシステムの締結リングナットおよびベ어링。
- ハンドルバー固定ボルトおよびナット。
- フロントフォークインナーチューブの固定スクリュー。
- フロントおよびリアのブレーキキャリパー固定ボルト。
- フロントヘッドライトの取り付けボルト。
- ハンドルバーコントロールの固定スクリュー。
- リアビューミラーの固定スクリューおよびナット。
- ライダーおよびパッセンジャー用フットボードの固定ピンおよびボルト。

テクニカルデータ (諸元)

JP

テクニカルデータ	
全長	2020 mm (79.53 in)
全幅	800 mm (31.50 in)
全高	1100 mm (43.31 in)
ホイールベース	1370 mm (53.94 in)
燃料90%搭載時の装備重量	158 kg (348.33 lb)
最大許容重量 (ライダー、パッセンジャー、荷物)	170 kg (374.79 lb)
総重量 (車両、ライダー、パッセンジャー、荷物)	330 kg (727.52 lb)
シート数	2
エンジン形式	4サイクル単気筒
シリンダー数	1
総排気量	463.25 cc (28.25 cu in)
ボア/ストローク	96 mm / 64 mm (3.78 in / 2.51 in)
圧縮比	12.5:1
始動方式	電子式セルフスターター
アイドリング時のエンジン回転数	1600 ± 200 rpm
クラッチ	湿式多板クラッチ (A&S) ハンドルバー左側にコントロールを配置
潤滑機構	湿式クランクケース トロコイドポンプによる圧送式潤滑
冷却方式	液冷
冷却液量	1.2 リットル (0.26 UK gal, 0.32 US gal)

テクニカルデータ (諸元)

JP

テクニカルデータ	
変速機形式	6速リターン式 エンジン左側にペダルコントロールを配置
減速比 (ギア比)	一次減速比: 2.286 1速ギア比: 2.357 2速ギア比: 1.824 3速ギア比: 1.474 4速ギア比: 1.182 5速ギア比: 1.000 6速ギア比: 0.846 二次減速比: 42/14
ドライブチェーン	520サイズ - 104リンク
エアフィルター	ペーパー式
燃料	無鉛プレミアムガソリン (95~98オクタン)
燃料タンク容量 (リザーブ含む)	12.5 リットル (2.75 UK gal, 3.30 US gal)
燃料リザーブタンク容量	2.8 リットル (0.62 UK gal, 0.74 US gal)
エンジンオイル量	総量: 1.8 リットル (1.90 US qt, 1.58 Imp. qt) オイルフィルター交換時: 1.6 リットル (1.69 US qt, 1.41 Imp. qt)
燃料供給機構	30mm径スロットルボディ電子制御燃料噴射 シングルポイント・シングルインジェクター
フレーム	スチール製アップライト+鍛造アルミプレート
スイングアーム	補強トラス構造のアルミ製スイングアーム
ステアリングアングル (サスペンション伸長時)	25°
ステアリングアングル (左右)	32.5° ± 1°

テクニカルデータ (諸元)

JP

テクニカルデータ		
フロントサスペンション		41 mm (1.61 in) 倒立式フォーク ストローク 130 mm (5.12 in)
リアサスペンション		プリロード調整式モノショックアブソーバー ホイールストローク 130 mm (5.12 in)
フロントブレーキ	形式	パイプ製 4ピストン 28 mm (1.10 in) ラジアルキャリパー 320 mm (12.60 in) 径フローティングディスク Ø13 mm (0.51 in) マスターシリンダー、調整式レバー
	ディスク最小厚さ	4.5 mm (0.18 in)
	パッド最小厚さ	2 mm (0.08 in)
リアブレーキ	形式	パイプ製 34 mm (1.34 in) シングルピストン・フローティングキャリパー 230 mm (9.06 in) 径ディスク マスターシリンダー Ø13 mm (0.51 in)
	ディスク最小厚さ	3.6 mm (0.14 in)
	パッド最小厚さ	1 mm (0.04 in)
リム (ホイール)	形式	5本スポーク・アルミ合金ホイール
	サイズ	フロント: 3.00 x 17" リア: 4.00 x 17"

テクニカルデータ (諸元)

JP

テクニカルデータ		
タイヤ	サイズ	フロント: 110/70 R17 リア: 150/60 R17
	空気圧 (ライダーのみ)	フロント: 1.9 bar (190 kPa, 27.56 psi) リア: 2.1 bar (210 kPa, 30.46 psi)
	空気圧 (ライダー及びパッセンジャー)	フロント: 2.2 bar (220 kPa, 31.91 psi) リア: 2.5 bar (250 kPa, 36.26 psi)
	基準モデル	ビレリ ディアプロ ロッソ IV
ABSシステム		リアホイール解除機能付き2チャンネルABS コーナリング機能
スパークプラグ		NGK LMAR9AI-8
バッテリー		12 V - 6 Ah
ヒューズ		メインヒューズ: 30 A セカンダリヒューズ: 5 A (2個)、7.5 A (3個)、10 A (1個)、30 A (1個)
ジェネレーター		12 V - 300 W
方向指示器		LED
ハイ/ロービームライト		LED
ポジション/ブレーキライト		LED
ライセンスプレート灯		LED

規制適合宣言

JP

規制適合宣言

EU指令 2014/53/EU



EU適合宣言（簡易版）：

お使いの車両には、各種の電波発信機器が搭載されています。これらの機器の製造事業者は、法令上必要とされる範囲において、指令2014/53/EUに適合していることを宣言します。EU適合宣言の全文は、以下のウェブサイトでご確認いただけます：www.Fantic.com/RED

電波発信機器の製造事業者の住所：

指令2014/53/EUの規定により、すべての電波発信機器には製造事業者の住所を表示する必要があります。サイズや形状の都合上、ステッカーを貼付できない機器については、法令に基づき必要とされる各製造事業者の住所を表2に記載しています。注：本機器へのアクセスおよび取り付けは、専門技術者のみが行うことができます。

表1

車両に搭載されている電波発信機器	周波数帯	無線送信最大出力
デジタルダッシュボード		
Bluetooth®	2402-2480MHz	-2.63 dBm

表2

車両に搭載されている電波発信機器	輸入業者
デジタルダッシュボード	Chengdu Tianxing Automobile Parts Co., Ltd No. 333, Motor City Avenue, Economy and Technology Development Zone, LongquanChengdu, Sichuan, PRC.

△ 注: 本機器へのアクセスおよび取り付けは、専門技術者のみが行うことができます。